

# ANNUAL REPORT 2024

公益財団法人 京都高度技術研究所

Advanced Science, Technology & Management  
Research Institute of KYOTO

2024(令和6)年度 年次報告書





● はじめに | 3

# 1 公益事業 1 科学技術振興事業

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

## 1 先端的研究開発事業

- (1) ヘルスケア分野における健康データ利活用技術に関する研究開発事業
- (2) AI (人工知能)、IoT (モノのインターネット)、データ分析技術の研究開発事業

## 2 研究成果の応用・普及事業

- (1) ヘルスケア分野における技術動向調査・企画提言事業
- (2) 観光・交通分野における技術動向調査・企画提言事業

- (3) AI、IoT、データ分析技術の応用事業
- (4) メタバースなど新規ICT分野の活用方法の実証及び情報発信
- (5) サイバーセキュリティセミナーによる情報発信・啓蒙事業

## 3 環境分野における研究開発事業

- (1) バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業
- (2) 自動車由来の廃プラスチック高度選別技術実証事業

### 詳細報告

- 1 情報セキュリティサービス事業「知っておくべきサイバーセキュリティ対策2024～未来を守るための鍵～」セミナー 6
- 2 バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業 7

# 2 公益事業 2 産業振興事業

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

## 1 新事業の創出を目指した支援事業

- (1) 地域プラットフォーム事業 8
- (2) 未来創造型企業支援プロジェクト事業
- (3) 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業 9
- (4) インキュベーション支援事業
- (5) 地域企業のデジタルトランスフォーメーション(DX) 推進事業 10
- (6) 起業家・専門家・中核人材育成事業 11
- (7) 京都スタートアップ・エコシステム推進事業
- (8) 世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト 12
- (9) 京都大学イノベーションプラザを拠点とした地域科学技術振興事業
- (10) 産学連携実装化プロジェクト
- (11) グリーンケミカル・エレクトロニクス技術創出事業 13
- (12) 第2回 ASTEM・産技研 支援企業交流会

## 2 ライフサイエンス分野における産学公連携事業

- (1) 京都市ライフイノベーション創出支援センターにおける産学公連携支援事業 14

## 3 環境分野・エネルギー分野における産学公連携事業

- (1) 環境省実証事業「バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業」 15
- (2) 自動車由来の廃プラスチック高度選別技術実証事業

## 4 経営支援事業

- (1) 中小企業パワーアッププロジェクト事業 16
- (2) 京都市グローバル・ニッチ・トップ企業創出プロジェクト
- (3) CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

## 5 金融支援事業

- (1) 直接貸付にかかる債権回収事業 17

### 詳細報告

- 1 留学生とスタートアップとの交流会 18
- 2 スタートアップビザを活用した外国人起業家活動促進事業 18
- 3 世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト IMPACT FLOW KYOTO 2024-2025 19
- 4 産学連携実装化プロジェクト 京都発！社会実装フォーラム ～大学研究とビジネスのコラボレーション～ 20
- 5 第2回 ASTEM・産技研 支援企業交流会 21
- 6 京都発革新的医療技術研究開発助成事業・メディカル革新研究助成事業 22

## 3 公益事業 3 産業競争力強化支援事業

産学公連携により、京都地域の産業競争力の強化と新事業の創出を図ることを目的とする事業

### 1 産学公連携による技術の橋渡し支援事業

- (1) 技術の橋渡し拠点運営事業 (京都市成長産業創造センター) | 23

#### 詳細報告

- 1 KGC-net設立10周年記念 京都市成長産業創造センター・KGC-net合同企画 オープンイノベーション | 24

## 4 その他事業 情報関連等事業

### 1 地域・自治体へのICT (情報通信技術) の展開事業

- (1) 自治体や外郭団体等の情報通信システム設計調達支援・開発運用事業 | 25
- (2) 地域産業DX推進とそのための情報通信システム開発実証・開発指導事業
- (3) 地域情報基盤の運営事業

### 2 研究成果の応用・普及事業

- (1) ICT教育教材並びに教育支援システムの普及事業
- (2) 産業用ネットワークの国際標準規格 (EtherCAT) 製品の認証事業 | 26

### 3 バイオマス利用促進事業

- (1) バイオマス・新エネルギー利用研究会

### 4 賃貸事業

#### 詳細報告

- 1 分散管理型PHR流通基盤の普及・事業化検討 | 27
- 2 eduroam/学認 (学術認証フェデレーション) から始めるセキュアな研究機関連携 | 27

## 5 財団運営

### 1 広報活動

- (1) ASTEMウェブサイト | 28
- (2) 広報出版物
- (3) 後援・協賛・協力
- (4) 展示会等への出展 | 29

### 2 主な事業活動記録

| 29

### 3 収支報告

| 31

### 4 概要・組織図

| 32

## 資料編

- ASTEMのあゆみ | 34

# はじめに

公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM) は、1988 (昭和63) 年に京都市、京都府、地元産業界、地元金融機関等が出捐し、科学技術の振興や地域産業の発展に寄与することを目的として設立されました。

以来、ICT、ライフサイエンス、グリーンなどの様々な科学技術分野の振興事業、産学公連携による新事業の創出・育成、中小企業の経営改善・経営革新など幅広い分野において、総合的な産業支援機関としての役割を果たすべく取組を進めています。

また、2023 (令和5) 年度が最終年度となる第Ⅲ期中期計画の取組成果を踏まえ、ASTEMの設立目的を果たすため、将来の変化を見据え、10年後のASTEMの「目指す姿」を定め、そこに向かうための「基本方針」と「重点施策」を示す「第Ⅳ期中期計画 (2024年度～2028年度)」を策定しました。

この中期計画では、当初5年の基本方針として、3つの柱を掲げており、初年度となる2024 (令和6) 年度は重点施策に掲げる取組の具体化に向け、継続事業の強化を図るとともに、国プロジェクト等の活用を含め、立ち上げに向けて新たに取組を進めました。

## (1) 地域企業等のDXの推進

ICT分野の新技术の導入や活用を加速する機関として、デジタルの力で、地域企業や地域・社会の課題解決や新たな価値創造を図る。

## (2) 脱炭素循環型経済システムの構築

2050年度までの脱炭素や資源経済安全保障の観点から、資源循環分野において、自然との共生を念頭におきつつ、環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす。

## (3) 新しい産業と雇用の創出

スタートアップや第二創業に挑戦する地域企業の製品開発や市場開拓、更にイノベーションを加速し、付加価値の高い産業と雇用の創出を実現する。

科学技術振興事業においては、2023 (令和5) 年度までの環境省の事業採択の成果を踏まえ、2024 (令和6) 年度からは長期間使用する自動車等で利用が拡大するプラスチックのバイオマス化・資源循環に係る技術開発を進め、動静脈の連携による新たな資源循環モデルの構築に取り組んでおり、新たな代替素材やリサイクル技術の開発、温室効果ガス削減効果の試算等に取り組みました。

産業振興事業においては、JETRO京都や産業支援機関と連携し、留学生と京都のスタートアップ・中小企業、京都で企業活動を展開しようとする留学生と外国人企業が交流するための機会の創出や、グローバル展開を見据え、あらゆる分野の社会課題の解決に挑む創業予定者及びスタートアップを支援する新たな取組を実施するなど、スタートアップの創出や支援に取り組みました。

また、京都市域における科学技術の振興と地域産業の発展を図るため、京都市内の大学の研究者を対象に、社会課題の解決に資する研究開発を行う研究者への助成を行い、大学発ベンチャーの起業・成長の「きっかけ」を提供するとともに、交流の機会を提供するなど、京都産業の活性化につなげる取組も実施しました。

今後も、行政、大学・研究機関、産業支援機関及び金融機関との連携・協力のもと、中小・ベンチャー企業、起業家等の多様なニーズに対し、適時適切な支援を行い、「科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与する」という使命の実現に向けて総力を挙げて取り組んでまいります。皆様の変らぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

## 1 先端的研究開発事業

### 趣旨・目的

これまで培ってきたICT(情報通信技術)分野を中心とする研究開発技術を活用し、大学、研究機関、企業等との幅広い連携のもと、革新的な技術を生み出していく。この成果の企業・産業界での導入と、導入による利便性の向上などにより、地域産業の活性化に寄与することを目的に先端的な研究開発を行っていく。

### (1) ヘルスケア分野における健康データ利活用技術に関する研究開発事業

特にPHR(Personal Health Record)分野に注力しており、一般社団法人PHR普及推進協議会において、2023(令和5)年度より「PHRデータ流通の促進に係る作業班」に参画し、課題抽出及び仕様の策定を進める中で、2024(令和6)年度においては、ライフログの国際規格Open mHealthや流通する各文

書のターミノロジーといったデータ流通の促進に係る仕様について調査・検討を行った。

また、ストレスと身体の関係性をセンサデータから解析するバイオフィードバックに関する研究にも参加した。

### (2) AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、データ分析技術の研究開発事業

画像・映像データやセンサから取得されたデータを対象とした特徴抽出・分類・識別・認識等について、ディープラーニングを中心とした手法の研究開発を引き続き行った。特に、科研費 基盤研究(B)「飼育下霊長類の生涯をアーカイブ～動物園の映像記録を教育プログラムに活用する～」(代表：京都市動

物園 田中正之副園長)、同「動物園動物の「生きる」をサポートするシステムの開発」(代表：京都市動物園 山梨裕美主席研究員)、挑戦的研究(開拓)「誰ひとり取り残さない包摂社会の核となる動物園の社会実装研究」(代表：京都女子大学 生田目美紀教授)に分担者として参画した。

## 2 研究成果の応用・普及事業

### 趣旨・目的

これまでの研究開発事業により得られた研究成果の普及・啓発や、これまで培ってきたノウハウの活用等を通じて、ICT(情報通信技術)分野での先端的研究開発の推進に寄与する応用・普及事業に取り組む。

### (1) ヘルスケア分野における技術動向調査・企画提言事業

主にPHR分野においての国の動向を調査するとともに、参加団体を通じた各機関や企業からの情報収集及び、PHR流通に必要なデータ交換規格や総合運用モデルの策定等を行った。

ここで得た、技術面・制度面にわたる広範な知見を基に、新

規事業調査企画の取り組みとして、中小企業における健康経営に着目し、オスカー認定企業への聞き取り調査を実施し、注目度・期待度共に高いことを確認した。

### (2) 観光・交通分野における技術動向調査・企画提言事業

京都市公式観光サイト「京都観光Navi」、公共交通乗換システム「歩くまち京都」を安定的に運用するとともに、観光客の回遊性を高めるための情報収集及び調査を行い、京都市観光協会向けに企画提案とシステム構築提供を実施した。

スマートフォンやバス停に設置されたパスロケーションシステムの稼働状況収集及び機器保守業者への情報提供を行い、安定的に稼働させるとともに、次期導入機器についての情報収集及び実証を実施し、代替の可能性及びより安定的な稼働を実現

させるための企画を保守業者との連携のもと実施した。

実証事業への取り組みとして、国の規制緩和を受けて企画段階より協力してきたタクシー会社によるオーバーツーリズム対策「手ぶら観光」の支援を実施した。また、自動運転については、自動運転レベル4 研究開発・社会実装プロジェクトのうちテーマ4(インフラ協調)チームに参加するほか、京都府等の関係団体との情報交換を継続した。

**(3) AI、IoT、データ分析技術の応用事業**

ブロッコリー自動収穫機での深層学習を用いた花蕾自動検出の研究開発を継続し、生物系特定産業技術研究支援センター「令和3年度補正予算「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の採択課題である「ブロッコリー選別自動収穫機の実用化レ

ベルの性能達成と機械化栽培体系の確立」（代表：プロダクトソリューションエンジニアリング株式会社、令和4～6年度）」において、深層学習技術を利用した花蕾検出を担当した。

**(4) メタバースなど新規ICT分野の活用方法の実証及び情報発信**

メタバース・Web3分野の動向を調査するとともに、実証するための環境を引き続き整備・維持した。地域の企業とともに、ASTEM主導での研究会の活動を実施し、補助事業（令和5

～6年度）を活用し、試作等の活動を行い、その結果を展示会やウェブサイトを通じて情報発信した。

**(5) サイバーセキュリティセミナーによる情報発信・啓蒙事業**

詳細報告① p.6

情報セキュリティサービス事業の立ち上げにあたり、事業内容の紹介も兼ね、地域企業向けのセキュリティ対策に関するセミナーを開催した。セミナーは「KRPフェス2024」イベント内で4社共催での開催であった。

また、セミナー開催と並行して英国大使館からの表敬訪問を受け、サイバーセキュリティ対策における日英の連携・協力に関する意見交換を行った。

表敬訪問者：英国総領事館 総領事代理 大阪・関西万博担当 マシュー・エリス氏

出席者：京都府、京都市、ASTEM、京都リサーチパーク株式会社、アムティーボ・ジャパン株式会社（旧称 サティフィケーション・ヨーロッパ・ジャパン株式会社）

**3 環境分野における研究開発事業****趣旨・目的**

1997（平成9）年に開催された「地球温暖化防止会議（COP3）」の開催都市であった京都市は、これを契機として地球環境分野に関する取組を進めてきた。こうした背景のもと、当財団が持つ産学公の人的ネットワークや新事業創出のノウハウを最大限に活かしながら、エネルギー・環境技術のいっそうの技術革新を促し、新事業の創出と持続可能な社会の実現に資するよう、環境分野における研究開発事業を行っていく。

**(1) 環境省実証事業「バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業」（受託事業名：長寿命用途のバイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業：令和6～8年度）**

詳細報告② p.7

本事業は環境省に採択された実証事業で、2024（令和6）年度からの3か年計画の初年度の取組を行った。

申請法人：ASTEM

共同実施者：三菱ケミカル株式会社、豊田合成株式会社、いその株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

事業全体のとりまとめをASTEMが、バイオマスプラスチック素材開発とケミカルリサイクル技術開発を三菱ケミカル株式会社、自動車用内外装部品への適用性評価を豊田合成株式会社、バイオマスプラスチックのマテリアルリサイクル性検証をいそ

の株式会社、廃自動車の解体性評価についてASTEMと三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、バイオマスプラスチック検出技術開発を株式会社リコーと株式会社島津製作所、各種分析については株式会社島津テクノリサーチ、バイオマスプラスチック国産原料開発を京都農業の研究所株式会社とGreen Earth Institute株式会社、耐久性評価指標開発を（国研）国立環境研究所、LCA解析による環境負荷低減効果の評価については（大）京都大学と三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社それぞれがそれぞれの課題を担当し、学識経験者の指導のもと、全構成メンバーが協同して、効率的かつ効果的に実証事業を遂行した。

**(2) 自動車由来の廃プラスチック高度選別技術実証事業（環境省 令和5～6年度「ELVプラスチックの選別・検出系の高度化実証事業」の再委託事業）**

本事業は自動車リサイクルシステムにおける再生プラスチックの高度利用化促進に向けた選別技術の実用化を目的とし、高度利用を阻害する臭素系難燃剤（Br系難燃剤）をはじめとする化学物質を含むプラスチック選別技術を開発・実証した。

申請法人：東和テクノロジー株式会社

共同実施者：いその株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、株式会社島津テクノリサーチ

ASTEMは東和テクノロジーからの再委託により、PP材を中

心とした5つの回収候補パーツを選定し、3つの年代別、2つの回収方法別（一次手解体と二次二ブラ解体）に軽自動車と普通車あわせて18台の解体・パーツ回収を行い、化学分析用サンプルとして提供した。回収候補パーツにはほとんど臭素（Br）が含まれていないことを確認するとともに、仮に高濃度Brが含まれる他パーツが混入したとしても、Br1.0%以上のものを選別除去できれば、RoHS規定値をクリアできる目途を得た。



詳細報告 2

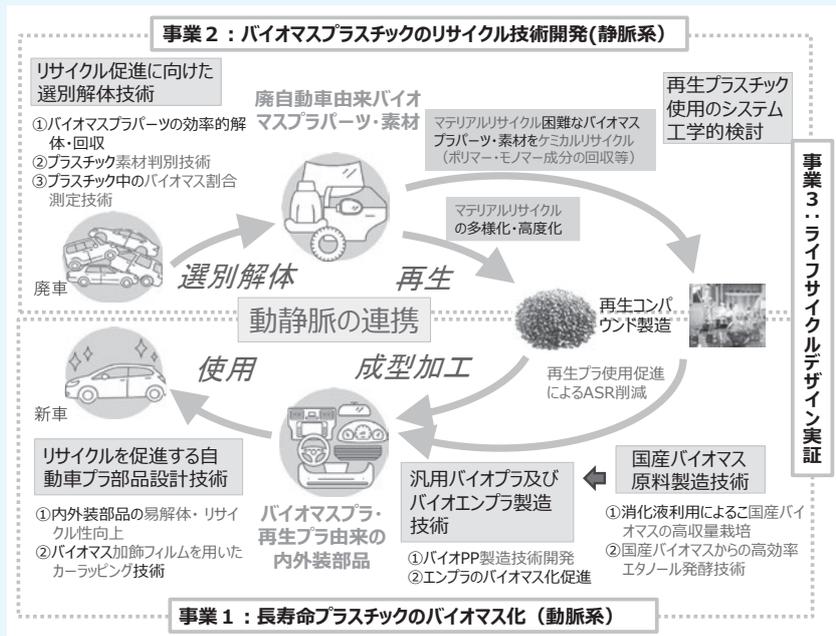
# バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業

(環境省受託事業名：長寿命用途のバイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業：2024～2026(令和6～8)年度)

## 1. 目的・背景

本事業は、使用年限が長期にわたる自動車用途等での利用が拡大するプラスチックのバイオマス化・資源循環に係る技術開発を進めるとともに、これによって実現し得るライフサイクルでの温室効果ガス削減効果等の評価を通じて、用途に適合した十分な寿命のプラスチックの動静脈が連携する新たな資源循環モデルを構築・検証し、脱炭素化・資源循環の加速化を目指している。

そのため、バイオマス由来プラスチックの自動車内外装部用品用素材としての適性を検証し、効率的な素材判別・解体・回収方法の検討を実施するとともに、リサイクル技術開発、検出装装置開発、バイオマス原料の国産化や耐久性評価指標の開発、LCAによる本事業のCO<sub>2</sub>削減効果試算を行うものである。



## 2. 2024(令和6)年度の成果

2024(令和6)年度は、事業1として、国産バイオマス由来エタノール中の不純物の分析・評価を実施するとともに、新たなバイオエンジニアリングプラスチックとしてバイオポリカーボネート(PC)材等の開発に取り組んだ。またスプレー塗装を代替する加飾フィルム基材としてバイオ由来の熱可塑性ポリウレタン樹脂(バイオTPU)を開発した。事業2として、回収量確保と解体性を評価するため、一次手解体と一次ニブラ解体の二つの事業者で廃自動車の精緻解体試験を実施した。マテリアルリサイクルに不向きな廃プラスチックのケミカルリサイクル技術開発にも取り組んだ。黒色プラスチックの素材判別に中赤外線を用いた分光で判別が可能であることを確認し、回収プラスチックのバイオベース度を計測する方式として、キャビティリングダウン分光法(CRDS)を最有力候補として選定した。また事業3として、中長期的視点からバイオマス原料の国産化を図るためソルガムを取り上げ、京都、笠岡、東温の3か所での試験栽培とその搾汁液のエタノール発酵試験を実施した。バイオプラスチックとしてPBCとPHBHを対象に、劣化指標、機械的特性指標及び生分解性指標の関係性を調査した。自動車のPP素材・PP使用部品等のプラスチック使用量を推定する動的フローモデルを開発し、化石資源由来自動車用プラスチックからバイオPP及びバイオエンブラへの転換による温室効果ガス(GHG)削減効果について試算した。

- 第1回検討会
  - 開催日 2024(令和6)年10月22日
  - 開催方法 オンライン
- 第2回検討会
  - 開催日 2025(令和7)年2月4日
  - 開催方法 会場・オンライン同時開催
  - 会場 三菱ケミカル(株)九州事業所

## 3. 今後の展開

2024(令和6)年度は、3年間にわたる実証事業の初年度として、掲げていた検討課題は概ね計画どおりに目標を達成することができた。次年度は、これらの成果を踏まえ、社会実装を意識した取組を進めていく予定である。

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

## 1 新事業の創出を目指した支援事業

### 趣旨・目的

京都市域の産業支援機関として、ほかの産業支援機関、大学、金融機関、行政等との幅広い連携のもと、創業者や中小企業に対して研究開発や事業化、人材育成、資金調達、販路開拓等の支援を行い新事業の創出を促進する。

### (1) 地域プラットフォーム事業

#### ⑦ 新事業創出支援体制連携強化

全国イノベーション推進機関ネットワーク等、関係機関との連携強化、地元金融機関と協力しての支援活動など、事業推進のための環境整備等を行った。

#### ⑧ イノベーション創出コミュニティ

「イノベーション創出コミュニティ (STC<sup>3</sup>)」は、「これから起業を考えている」「起業後の活動拠点を探している」といった方々を対象とした会員制のシェアオフィス兼ワーキング施設であり、快適なビジネス環境とともに、起業に関する様々な支援を提供している。

また、①「ティーチング・インキュベーション」(起業家を育てる教育をベースにしたインキュベーション)として、起業に必要な事業コンセプトや日々の会計を意識したマネジメント手法を考える豊富な教育プログラムの提供や、②「イノベーション創出拠点」として、大企業・中小企業・ベンチャー企業・学生等、多様な人々が自由に交流できる場の提供など、起業家を育てる教育をベースに、イノベーションを創出する拠点として支援を展開している。

2024 (令和6) 年度は、オンラインと併用した経営法務勉強会、ビジネスモデル構築関連講座、販路開拓、広報、経理・簿記など事業活動に直結する実践的なセミナーや勉強会、インキュベーションマネージャー (IM) による個別相談 (一般会員は無料)、会員同士の交流を目的としたアフタヌーンミーティングなどを実施した。

また、京都市の創業支援等事業計画に基づき、「特定創業支援等事業」として、経営、財務、人材育成、販路開拓とともに、ビジネスモデルと仮説検証について学ぶ「京都起業塾」を開講した。

会員数：一般会員 140組織

セミナー等参加者数：223名 (延べ)

#### ⑨ 創業支援講座

「京都起業塾」2回

- 2024 (令和6) 年度第1回京都起業塾

**開催日** 2024 (令和6) 年5月10日、11日、6月1日

**会場** ASTEM

**内容** ①価値創造・仮説検証とビジネスデザイン、②成功確率を上げるための創業計画書の書き方、③開業手続き及び初めての経理、④戦略的法務を起業に活かす、⑤開業手続き及び初めての経理 (経理の仕方や必須税務知識など)、⑥ビジネスデザイン実践、⑦プチ交流会～STC<sup>3</sup>先輩起業家との交流も兼ねて～、⑧作成したビジネスモデルを発表してみよう、⑨卒塾後についての説明

**参加者** 16名

- 2024 (令和6) 年度第2回京都起業塾

**開催日** 2024 (令和6) 年11月8日、9日、23日

**会場** ASTEM

**内容** ①創業アイデアからビジネスモデル、②価値創造・仮説検証とビジネスデザイン1、③開業手続き及び初めての経理 (経理の仕方や必須税務知識など)、④価値創造・仮説検証とビジネスデザイン2、⑤ビジネスデザイン実践、⑥成功確率を上げるための創業計画書の書き方、⑦京都中央信用金庫の創業支援について、⑧交流会～STC<sup>3</sup>先輩起業家との交流も兼ねて～、⑨戦略的法務を起業に活かす、⑩作成したビジネスモデルを発表してみよう、⑪卒塾後についての説明

**参加者** 14名

「法務研究会」11回

「ビジネスモデル構築関連講座 (DXカフェ)」5回

「経理作業寺子屋」26回

「販路開拓、広報セミナー」6回

※講座は原則有料。ただし、一般会員は無料にて受講可能。

### (2) 未来創造型企業支援プロジェクト事業

企業の事業プランを評価・認定する「京都市ベンチャー企業目利き委員会」の活動を通じて、将来性の高いベンチャー企業の発掘から育成まで、一貫したきめ細かなサポートを行い、企業のさらなる発展を支援した。

#### ⑩ 京都市ベンチャー企業目利き委員会事務局運営業務・支援制度の連携による一貫支援

Aランク認定数：4件 (申請12件)

- 第64回京都市ベンチャー企業目利き委員会

最終審査会：2025 (令和7) 年3月10日

アイ・ピース株式会社

アクアス株式会社  
株式会社オートインスペクト  
株式会社ソフトマターシミュレーションズ

#### ④ 「共生」の活動

京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業相互の連携を図り、互いの経験・技術・情報を交換することにより、企業の成長発展を促進することを目的として開催した。ベンチャーキャピタル（VC）等金融機関にも参加いただき、資金調達の環境整備や人的ネットワーク形成のため、新規認定企業にはプレゼンテーションの機会を提供した。事業の進捗に応じた様々な段階での情報交換が期待できるネットワーク作りを図ることができた。

**開催日** 2024（令和6）年7月10日【例会】

**会場** GOCONC（GOJO CONCOURSE）

**参加者** 認定企業16社18名、金融機関・関係者等6社26名

#### ⑤ 無料専門家派遣

中小企業診断士等の専門家を無料でAランク認定企業に派遣し、診断やアドバイスを実施。

支援企業数：4社（9回）

#### ⑥ 京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業ビジネスマッチング会

Aランク認定を受けた企業の販路開拓支援及び技術マッチング支援を目的として、認定企業が持つ独自技術や製品を発表する「Aランク認定企業ビジネスマッチング会」を開催した。

**開催日** 2024（令和6）年11月28日

**開催方法** オンライン

**参加者** 73名

### (3) 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業

国等の提案公募型研究開発事業について、ASTEMが事業管理機関として参画し、研究開発を推進したプロジェクトは以下のとおりである。

#### ⑦ 成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省）

##### ㊦ 呼吸器専門医不足を解消するAI聴診支援クラウドとAI聴診スコアの研究開発

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

近年、呼吸器疾患が増加しているが、呼吸器の専門医が不足している。呼吸器疾患の診察において最も有効な検査は聴診であるが、疾患の併発や個人差等、呼吸音の聴診は専門医であっても容易ではない上に、検査機器の発達によって、聴診の技術が培われにくくなっている。そこで本事業では、専門医の知識・技術を埋め込んだAI聴診スコア、AI聴診支援クラウドを実現し、呼吸器疾患の診察にあたる非専門医の聴診を支援するための技術開発を行った。

##### ㊧ 非水系二次電池の高性能化に資する熔融塩電解技術による炭素微粒子の研究開発

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

温室効果ガス排出抑制に向け「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が世界的な取組課題となっているが、自動車業界ではEV化に欠かせない車載用二次電池において、急速充放電特性の向上及び高容量化が基本的な課題となっている。本事業では、熔融塩電解技術による炭素微粒子の製作について研究開発し、これを熱処理により黒鉛化し非水系二次電池のハイレート化と高容量化に資する炭素負極材料の市場投入を目指すための取組を行った。

##### ㊨ 多孔性配位高分子の低炭素且つ低コストな製造プロセスの開発

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

日本で世界に先駆けて開発された多孔性配位高分子（PCP/MOF）は、「究極の多孔性材料」として知られ、二酸化炭素などのガスの貯蔵・分離をはじめとする様々な分野への利用が期待されている。しかし、従来の製造プロセスでは生産性、コスト、環境負荷などの課題

があり、社会実装が思うように進んでいない。本事業では、多孔性配位高分子のうち高性能且つ原料コストが安価なMIL-101（Cr）を対象として、製造の各工程が抱えている課題を解決することで、低炭素且つ低コストな製造プロセスを確立し、社会的実装を促進するための取組を行った。

##### ㊩ ヒトiPS細胞由来のウイルス培養細胞の凍結乾燥工法の開発

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

令和3年度まで実施したサポイン事業において、iPS細胞から特殊な血球細胞を作製する技術を活用し、広範囲なウイルスに対応できるウイルス培養細胞（iMylc-V）を開発した。本細胞により、新型コロナ患者からウイルス分離が可能であることを示し、また、本細胞の凍結保存技術は確立している。本事業では、このウイルス培養細胞を、凍結保存が困難な地域を含む世界中でも使用可能とすべく、凍結乾燥製品にするための技術開発の取組を行った。

##### ㊪ 微細ナノ粒子製造技術の確立と酵素活性高度化への活用

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

5nm以下のナノ粒子は血液中の循環による癌治療や燃料電池における触媒作用の向上など、各種分野でニーズの高まりを見せている。新たなニーズとして、果汁の製造工程で用いられる酵素に金ナノ粒子を担持させることで酵素活性を向上させ、清澄化温度を下げ、加熱電力の削減や風味維持が可能であることがわかってきた。

本事業では、京石産業株式会社が開発した「プラズマ急速加熱冷却法」を高度化して、従来のCVD法などでは安定的な製造が困難な微細ナノ粒子の製造技術を確立し、金ナノ粒子を活用した酵素活性向上による低コスト且つ高品質な果汁製造プロセスを確立するための取組を行った。

##### ㊫ ロジカル熱処理を実現するシミュレーション援用ゆがみ制御システムの開発

研究開発期間：2022（令和4）年度～2024（令和6）年度

次世代自動車、航空機、エネルギー機器等における高精度部品の熱処理では、ゆがみに対して異次元の制

約が課せられるようになり、ゆがみを整形研削するために多大な経済損失が発生している。本研究開発では、窒化、高周波焼入れ、浸炭・高周波焼入れ複合処理等の、団体急冷の過程のない熱処理に対し、シミュレーションを援用したゆがみ制御システムを開発することで、ゆがみを論理的に低減させるロジカル熱処理を実現し、高精密部品の熱処理ゆがみに起因する多大な経済損失の解消に寄与するための取組を行った。

#### ⑥ 熱交換フィンチューブによる工場排熱を利用した熱発電機能付き熱交換器の開発

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

川下顧客で発生している莫大な工場排熱から電気エネルギーを回収するため、「フレキーナ」を搭載した独自工法による熱交換フィンチューブと、その熱発電機能付き熱交換フィンチューブを用いた排ガス活用10KW出力熱交換器を開発するための取組を行った。また、熱発電ユニットの低電圧・大電流直流出力を低損失で給配電するために高電圧・小電流に変換するDC-DCコンバータ及び給配電システム制御方式を開発する取組を行っている。

#### ⑦ バイオ医薬品の精製コスト低減を実現する次世代モノリス膜カラムの開発

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

バイオ医薬品が高額になる原因である全製造コストの2/3を占める分離・精製のコストを低減するために、膜ろ過と液体クロマトグラフィーの利点を統合した膜クロマトグラフィーが、新しい分離技術として注目されている。本研究開発では、相分離によって共連続構造を形成するモノリス技術を活用することで、短時間で大量の医薬品を高純度で精製でき、従来の膜カラムの性能を凌駕する次世代モノリス膜カラムを開発する取組を行っている。

#### ⑧ B型肝炎治療ワクチンで利用するC抗原の製造技術の開発

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

B型肝炎ウイルスのコア(C)抗原はアジュバント作用や細胞性免疫活性化能を有する抗原であり、B型肝炎ウイルスを含むウイルスの表面抗原と併用すると、より強い予防ワクチンや完治可能な治療ワクチンとなる。本事業ではC抗原について、医薬品原薬として利用可能なグレードの製造法(培養法、精製法、分析法等)を完成させることを目的とし、完治可能な治療法がないB型肝炎を始めとする感染症医療に貢献することを目指し取組を行っている。

#### ⑨ 環境配慮型の難燃性軽量低コスト壁面装飾建材を実現する3Dプリンター成形用粉体材料の開発

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

これまでの川下産業からの依頼で作る難燃製品は通常の物の倍の金額が掛かってしまっていた。3Dプリンターで対応するためにその材料であるポリプロピレン、ポリアミド11、ポリ乳酸樹脂などバイオ系材料を混練粉碎し、木質ほか添加物を加えることで難燃性能を発現させる。材料、及びその造形物の製造方法の研究開発を行い、高意匠・軽量立体造形物及びその材料をBtoC販売するプロセスを加速させるための取組を行っている。

#### ⑩ 車載用薄膜抵抗器における高安定高抵抗素子の実現

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

EV化・電子化が進む自動車業界においては、バッテリーの高電圧化がさらに進むと想定され、電子回路などへの低電圧へ分圧するために、高い抵抗値の抵抗素子が必要とされることになる。本研究は、車載部品に要求される高い耐環境性を有し、耐温度サイクル性に優れた3.2mm\*1.6mmのチップサイズで従来の抵抗値範囲の2倍の高抵抗の薄膜抵抗素子またはこの技術を利用した薄膜ネットワーク抵抗器を実現するための取組を行っている。

#### ⑪ ゼオライト触媒等によるポリオレフィン、ポリエステル解重合法を開発しケミカルリサイクリングを実現する

研究開発期間：2023(令和5)年度～2025(令和7)年度

従来より低温低圧でコストが廉価であり、且つプラスチックの中でも最も解重合が難しいものの1つであるポリエチレン、またPET等を対象に、解重合の開発を進めるための取組を行った。当該技術にはまだスケールアップや外表面積、孔径、酸強度等の最適化の課題があるため、本研究開発による課題解決のための取組を行っている。

#### ⑫ 細胞内活性型RNA結合医薬候補化合物の予測システムを実現する統合情報解析技術開発

研究開発期間：2024(令和6)年度～2026(令和8)年度

RNA創薬プラットフォームの高度化を図り、創薬指向性化合物の効率的な取得、細胞内活性向上とパラメータの取得、予測システムの構築と検証を進め、これにより、創薬研究のコストと時間を大幅に削減し、目的化合物の取得率を5倍に高めるための取組を行っている。

## (4) インキュベーション支援事業

### ① インキュベーションマネージャー配置

独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置・運営している「京大桂ベンチャープラザ北館・南館」及び「クリエイション・コア

京都御車」にインキュベーションマネージャーを配置し、入居者に対する販路開拓・マッチング支援、経営支援、研究開発支援等を実施した。

## (5) 地域企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業

京都市地域企業DX人材育成推進・普及啓発事業運営業務を受託し、地域の中小企業を対象に、社内においてビジネスモデルの構築からデジタル化の推進計画までを策定できる「デジタ

ル人材」の育成に取り組むと同時に、地域ベンダー企業とのマッチングも図り、企業においてDXが円滑に推進できるような機会を提供することで、地域企業によるイノベーションを創出し、

地域産業・経済の活性化を図った。

### ●第1回 デジタル化・DX導入セミナー

- 開催日** 2024 (令和6) 年6月4日
- 会場** 京都経済センター
- 講演者** 株式会社サテライトオフィス 取締役 別所 貴英 氏
- テーマ** 生成AIが切り開くビジネス業務の創造と実践  
～時代はDXからAXへ～
- 参加者** 63名

### ●第2回 デジタル化・DX導入セミナー

- 開催日** 2024 (令和6) 年7月24日
- 会場** 京都経済センター
- 講演者** 株式会社ベルシステム24 Digital & Creative局  
局長/Sales Promotion局 局長 川崎 佑治 氏
- テーマ** DXは罨だらけ!? 便利ツールに惑わされない変  
革とは
- 参加者** 45名

## (6) 起業家・専門家・中核人材育成事業

### ㊦ 京都大学デザインイノベーションコンソーシアムの運営支援

「京都大学デザインイノベーションコンソーシアム」では、京都大学デザインスクールと産業界・行政の連携により、領域横断的な問題発見・解決を目指すとともに、グローバル社会の複合的な問題を解決できる人材の育成を行っている。ASTEM

### ●中小企業デジタル化・DX促進マッチングフェア2024

- 開催日** 2024 (令和6) 年12月19日
- 会場** 京都産業会館ホール
- 内容** ・DX普及啓発セミナー  
・事業者マッチング(ブース出展54社)  
・ITツール操作体験コーナー  
・相談コーナー
- 参加者** 317名

### ●デジタル化・DX実践講座

- 開催日** 2024 (令和6) 年9月4日～12月19日
- 会場** 京都リサーチパーク、京都産業会館ホール
- 内容** 全5回連続講座  
①DXの覚醒  
②ビジョンを描く  
③戦略のブラッシュアップ  
④フィードバックの連鎖  
⑤アクションへの道標
- 参加者** 14社

は、デザインによる問題解決やイノベーション創出で京都地域の産業振興を図ることを目的として、本コンソーシアムの事務局を担うことにより、その運営に協力し、様々なイベントを実施した。

## (7) 京都スタートアップ・エコシステム推進事業

京都域内の産業支援機関等との連携により、スタートアップ・エコシステムを整備・拡充するとともに、世界に伍するスタートアップの創出を図るため、以下の事業を実施した。

### ㊦ KYOTOオープンイノベーションカンファレンス

スタートアップや中小企業の販路開拓支援の一環として、グローバル展開する大企業等のニーズを紹介し、スタートアップ等の優れた技術とのマッチングを図るカンファレンスを開催した。

#### ㊦ ライオン株式会社

- 開催日** 2024 (令和6) 年10月17日
- 会場** 京都リサーチパーク1号館 サイエンスホール
- 参加者** 42名

#### ① 株式会社カネカ

- 開催日** 2024 (令和6) 年11月18日
- 会場** 京都リサーチパーク1号館 サイエンスホール
- 参加者** 36名

#### ㊦ デクセリアルズ株式会社

- 開催日** 2025 (令和7) 年2月13日
- 会場** 京都リサーチパーク1号館 サイエンスホール
- 参加者** 28名

### ㊦ 学生・留学生とスタートアップとの交流

京都で学ぶ大学生及び留学生と京都のスタートアップ・中小企業との出会いの場を創出することで、スタートアップの人的資源確保の支援を行った。

### ㊦ 大学生対象 スタートアップでのインターンシップマッチングイベント

- 開催日** 2024 (令和6) 年10月18日
- 会場** 京都大学百周年時計台記念館
- 内容** 企業紹介、大学生と企業との交流会
- 参加企業** 10社 (earthcampus株式会社、株式会社whicker、株式会社エルシオ、株式会社光響、GLM株式会社、株式会社食一、株式会社バイオーム、株式会社HACARUS、ファンフォ株式会社、株式会社100)
- 参加者** 34名(学生：16名)

### ④ 留学生と京都のスタートアップ・地域企業等との交流会

- 開催日** 2025 (令和7) 年2月27日
- 会場** 京都経済センター

詳細報告① p.18

### ㊦ スタートアップビザを活用した外国人起業活動促進事業

詳細報告② p.18

京都における留学生等の起業支援の一環として、留学生等と京都の外国人起業家との交流イベントを開催した。京都で起業した外国人起業家から起業にあたっての苦労話や具体的な経験談等について講演いただくとともに、外国人起業家のトークセッションや交流会を実施した。

また、外国人がスタートアップを始めるにあたり、京都が適した地域であることを紹介する内容のショート動画及び英語でSTC<sup>3</sup>の案内概要ページを作成した。

( <https://stc3.net/startup/> )

## 女性のための起業プログラム

京都市及び京都信用保証協会と連携して、これから京都市内で起業に挑戦しようとしている女性を対象にした起業プログラムを実施した。

**開催日** 2025(令和7)年1月23日～2月28日  
**会場** GROWTH京都河原町  
**内容** 全5回連続講座  
**参加者** 19名

## (8) 世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト

詳細報告 ③ p.19

グローバル展開を見据え、環境・エネルギー、教育、医療、文化等、あらゆる分野の社会課題の解決に挑む創業予定者及びスタートアップを支援する新たなプロジェクト「IMPACT FLOW KYOTO 2024-2025」を実施し、9者を採択した。

### 募集概要

**補助対象者** 創業支援部門：創業前の起業家  
STEP-UP部門：創業からシリーズAまでの段階のスタートアップ  
**補助金額** 創業支援部門：補助上限額50万円、補助率2/3以内  
STEP-UP部門：補助上限額200万円、補助率2/3以内  
**募集期間** 2024(令和6)年10月18日～11月19日  
**補助対象期間** 2025(令和7)年4月1日～2026(令和8)年2月28日

## (9) 京都大学イノベーションプラザを拠点とした地域科学技術振興事業

京都地域における科学技術振興及び新産業創出に向け、京都大学大学院工学研究科イノベーションプラザ(旧JSTイノベーションプラザ京都)を拠点として同研究科附属学術研究支援センターと連携し、2013(平成25)年4月からコーディネータを配置して、大学の技術シーズと企業のニーズに関する産学マッチングを行うなど、産学・産産連携の促進や地域の優れた研究成果の事業化促進等に取り組んだ。

### 産学連携による研究開発の促進

- ㊦ 大学及び地域企業等の訪問等により、事業化に結び付く技術シーズ、ニーズの発掘を目的として、情報収集・情報交換を行った。  
延べ件数：128件
- ㊧ 大学及び地域企業等からの研究開発の推進や、事業化に向けた技術相談についての助言をはじめ、研究者紹介等のシーズとニーズのマッチングを行った。  
延べ件数：28件
- ㊨ 大学や地域企業が実施する実用化研究開発課題について、技術アドバイス、情報収集、他機関とのマッチング等、事業化推進に向けての支援を行った。  
延べ件数：22件
- ㊩ 大学や地域企業の技術シーズの実用化・事業化の促進に向けた競争的資金獲得支援活動を実施した。  
延べ件数：2件
- ㊪ 産学公連携を目的として、情報収集・情報交換を行った。  
延べ件数：13件

### 産学交流の促進、情報発信

- ㊦ 主催事業
  - ・理系女性のキャリアセミナー「理系女性のキャリアのリアル」  
**開催日** 2024(令和6)年9月6日  
**会場** 京都経済センター  
**参加者** 5名

- ・宇宙への挑戦!! スタートアップと研究者が語る未来シンポジウム  
**開催日** 2025(令和7)年1月14日  
**会場** 京都リサーチパーク4号館 バズホール、オンライン  
**参加者** 117名
- ・金属3Dプリンタシステムに関する技術セミナー  
**開催日** 2025(令和7)年2月28日  
**会場** ASTEM棟、オンライン  
**参加者** 40名

### ① 共催事業

- ・「ワクワクみらいアカデミー」  
**開催日** 2024(令和6)年8月21日  
**会場** 株式会社堀場製作所 本社、株式会社堀場テクノサービス  
**参加者** 36名
- ・「京都大学 次世代研究者 産学連携ネットワークイベント：BX桂」  
**開催日** 2024(令和6)年10月16日  
**会場** 京都大学国際科学イノベーション棟 5階、オンライン  
**参加者** 141名
- ・「第5回光量子センシングワークショップ」  
**開催日** 2024(令和6)年11月29日  
**会場** 京都大学桂キャンパス 桂ホール、オンライン  
**参加者** 235名
- ・「京都大学 次世代研究者 産学連携ネットワークイベント：Resilience桂」  
**開催日** 2025(令和7)年2月21日  
**会場** 京都大学大学院工学研究科 イノベーションプラザ1階、オンライン  
**参加者** 112名
- ・「ERATO竹内超量子もつれプロジェクト 第1回公開シンポジウム」  
**開催日** 2025(令和7)年3月27日  
**会場** 京都大学桂キャンパス 桂ホール、オンライン  
**参加者** 205名

## ② 広域コーディネート活動の推進

- ② 地域内のコーディネータ交流会等に積極的に参加し、交流及び情報交換・情報収集を行い、連携促進を図った。  
延べ件数：29件

- ④ 大阪府下をはじめとする地域外の企業に対してニーズ調査、情報交換・情報収集に努めた。  
延べ件数：12件

## (10) 産学連携実装化プロジェクト

詳細報告④ p.20

大学発ベンチャーの起業・成長の「きっかけ」を提供するとともに、京都産業の活性化を図るために、京都市内の大学に所属する研究者を対象に、京都市が抱える社会課題の解決に資する革新的研究開発を行う研究者に助成することで「社会課題の解決」「研究開発成果の社会実装」につなげる支援を行った。

**募集期間** 2024(令和6)年6月27日～7月26日

**助成金額** 大学研究者 200万円(間接経費含む)

**助成期間** 採択決定日～2025(令和7)年2月28日(単年度)

**実績** 応募件数：11件

採択件数：5件

### ● 第1回オープンイノベーション交流会

**開催日** 2024(令和6)年11月26日

**会場** GROWTH京都河原町

**内容** 研究開発の進捗発表、企業による産学連携の紹介

**参加者** 30名

### ● 第2回オープンイノベーション交流会・成果報告会

**開催日** 2025(令和7)年3月19日

**会場** 京都経済センター、オンライン

**内容** 研究開発成果の発表

**参加者** 23名

## (11) グリーンケミカル・エレクトロニクス技術創出事業

京都の強みである化学技術領域において、産学公連携による研究開発を強化し、環境及びエネルギー問題の解決に資するグリーン技術を確立するための人材を育成するとともに、その成果をもとに企業マッチング、プロジェクト創出を図った。

### ② 京都グリーンケミカル・ネットワーク(KGC-net)

京都地域のグリーン産業(経済発展と環境保全を両立させる産業)の振興を目的に、2014(平成26)年7月に設立された「京都グリーンケミカル・ネットワーク」の事務局として、本ネットワークの運営に関わり、化学産業に従事する研究者や技術者に向けて、若手研究者のための人材育成プログラムを実施する一方で、相互の強みを活かした企業連携などの事業を、専任コーディネータを中心に実施した(会員企業75社、2025(令和7)年3月時点)。

#### ② 総会

**開催日** 2024(令和6)年6月28日

**参加者** 会員企業34社 74名(交流会53名)

#### ④ 幹事会

**開催日** 2024(令和6)年9月5日

(会場：京都市成長産業創造センター)

2025(令和7)年3月13日

(会場：第一工業製薬株式会社)

#### ⑤ 人材育成セミナー

若手研究者を対象に「化学領域」における研究基礎知識、「企業人としての心得」をテーマとして、学識者や企業幹部による講演とグループディスカッションを実施した。

**開催日** 2024(令和6)年11月25日

**参加者** 11社 21名、全員修了証書授与

#### ⑤ マイクロケミカルプロセス分科会

マイクロフロー技術の社会実装に係る研究会を開催した。

**開催日** 第1回：2024(令和6)年7月23日

第2回：2024(令和6)年10月22日

第3回：2025(令和7)年2月20日

**参画企業** 15社(2025(令和7)年3月時点)

#### ⑤ オープンイノベーション

「3 公益事業 3 産業競争力強化支援事業」(P.23)に掲載

#### ⑤ 会員企業への事業化支援(産産及び産学連携)

ビジネスマッチング件数：40件

プロジェクト創出件数：4件

## (12) 第2回 ASTEM・産技研 支援企業交流会

詳細報告⑤ p.21

ASTEM及び地方独立行政法人京都市産業技術研究所の支援企業等を対象に、幅広い企業間連携の創出や課題共有を図るため、「中小企業の海外展開」をテーマに交流会を実施した。

**開催日** 2025(令和7)年2月3日

**会場** 京都市産業技術研究所 2階大ホール

**参加者** 支援企業：47名、支援機関等：28名、関係者：27名

## 2 ライフサイエンス分野における産学公連携事業

### 趣旨・目的

京都には、生物学、医学、薬学、農学、工学等の分野において、多様で高度な研究成果を誇る大学や研究機関が、また、分析・解析技術、電子技術、ICT技術等、最先端の高い技術力を有する企業が数多く存在している。こうした京都の特性を活かして、新事業の創出を図るために、当財団が培ってきた産学公の人的ネットワークや新事業創出のノウハウを最大限に活かしながら、ライフサイエンス分野における産学公連携事業を推進する

### (1) 京都市ライフイノベーション創出支援センターにおける産学公連携支援事業

#### ⑦ 京都発革新的医療技術研究開発助成事業 [詳細報告⑥](#) p.22

京都市内の大学の研究者及び中小企業者を対象に、今後成長が期待される再生医療をはじめとするライフサイエンス分野において、新たな医療機器や医薬品等の創出につながる研究開発に助成を行う。これにより、新規事業展開等の「きっかけ」を提供し、市内ライフサイエンス産業の振興を図った。

**募集期間** 2024(令和6)年4月1日～24日

**補助金額** 大学研究者 直接経費の上限100万円(ただし、間接経費を含む場合は、上限130万円)、中小企業者 上限100万円

**助成期間** 採択決定日～2025(令和7)年2月28日まで(単年度)

**実績** 応募件数：37件(うち、企業11件、大学研究者26件)  
採択件数：13件(うち、企業4件、大学研究者9件)

#### ⑧ ライフサイエンスベンチャー創出支援事業

京都市におけるライフサイエンス関連産業の育成を図るため、ライフサイエンス分野(先端医療技術、健康・福祉・介護等)において、ベンチャー企業を自ら経営する意欲を持つ人材に対し、ビジネスモデル構築等の支援を行い、新産業の創出に向けた取組を実施した。

#### ⑨ KYOTO発起業家育成プログラム

起業意欲の高い人材を対象に、ライフサイエンス分野における大学等の技術シーズをテーマにしたビジネスモデルの構築とベンチャー創出のために、起業経験者による助言等、起業に向けた実践的な支援を実施した。

**募集期間** 2024(令和6)年5月8日～6月13日

**採択件数** 2件(応募件数：3件)

##### ・成果報告会

本プログラムの成果報告として、採択者がビジネスプランを発表する成果報告会を開催した。

**開催日** 2025(令和7)年3月14日

**開催方法** 会場、オンライン同時開催

**参加者** 28名

#### ⑩ KYOTO LIFE SCIENCE STARTUP 新事業創出セミナー キックオフセミナー及びオンラインセミナーの開催

先輩起業家等の経験談を聴けるリアルセミナー及び起業に必要な経営や薬事等の知識を提供する「KYOTO LIFE SCIENCE STARTUP 新事業創出セミナー(リアル1回、オンライン5回)」を開催した。

**対象** ライフサイエンス分野での起業を目指す方や起業後間もないスタートアップ等

**参加者** 延べ295名

#### ⑪ ライフイノベーション創出支援事業

健康・福祉・介護・医療機器分野等において技術的課題の解決や市場性の高い製品開発を促進し、新事業の創出に向けた支援を行った。

**活動内容** ・医療・介護現場ニーズの提供

- ・医療・介護現場との連携により現場ニーズを提供
- ・現場に詳しい医療従事者及びディーラー等がニーズの市場性を評価
- ・プロジェクトの創出支援
- ・新事業展開を目指す新製品開発プロジェクトを支援
- ・技術課題の解決に必要なシーズを持つ大学研究者・製販企業(医療機器メーカー)とのマッチング
- ・薬事及び知財対策等の専門家によるアドバイス
- ・新製品・サービスの創出
- ・京都発革新的医療技術研究開発助成事業等の支援事業の活用や、公的ファンドの獲得を支援
- ・試作品の実証やフィールドテストの実施に向けて、医療・介護現場とのマッチング

#### ⑫ コーディネート活動

京都発革新的医療技術研究開発助成事業をプラットフォームとし、採択案件の早期社会実装の実現に向け、競争的資金獲得に向けた申請書作成支援をはじめとする各種相談、研究機関や企業とのマッチングなどを行った。

また、医療技術の事業化を目指した産学連携によるプロジェクトの組成を促し、新事業の創出に向けた支援を行った。

面談、打ち合わせ等の件数：360件(内訳：企業125件、大学研究者195件、医療機関27件、その他(公的機関等)13件)

#### ⑬ 他機関との連携

- ・一般社団法人京都府臨床工学技士会
- ・その他(近畿経済産業局、関西医療機器産業支援ネットワーク、京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学等)

#### ⑭ メルマガ「BMP-NET」の発行

概ね月2回程度メルマガを発行し、当センターの取組のほか、国等の動き、他機関や大学からの依頼を受けての催しの案内など、ライフサイエンス分野における産学公連携の一助となる各種情報を発信した。

※BMP登録会員数(2025(令和7)年3月末現在)：1,503名

## 3 環境分野・エネルギー分野における産学公連携事業

(1) 環境省実証事業「バイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業」  
(受託事業名：長寿命用途のバイオプラスチック素材開発と資源循環のライフサイクル実証事業:R6～R8年度)

(2) 自動車由来の廃プラスチック高度選別技術実証事業  
(環境省 令和5～6年度「ELVプラスチックの選別・検出系の高度化実証事業」の再委託事業)

[1 公益事業 1 科学技術振興事業] (P.5) に掲載

## 4 経営支援事業

### 趣旨・目的

京都市の指定する中小企業支援機関として、意欲的で今後も持続的な成長が期待される中小企業に対して、当該企業が持つ力を十分発揮できるよう、専門家や他機関とも連携しながら、経営・財務・広報・販路開拓などの様々な課題を解決し、経営革新を支援することにより、京都経済の中核を担う中小企業の成長・発展を促進する。

### (1) 中小企業パワーアッププロジェクト事業

経営革新を図るための事業計画を募集審査し、企業価値の向上により持続的な成長が期待される企業を認定する「オスカー認定制度」を核に、将来性の高い中小企業の発掘から育成まで一貫したサポートを行った。

#### ア パワーアップコーディネータによる企業訪問

企業訪問の手法により、企業の課題を掘り起こし、専門家やほかの支援機関とも連携しながら、総合的に支援した。

- 延べ訪問数：298件
- 電話やメール等による延べ対応件数：93件

#### イ 先進企業への「オスカー認定」

積極的に経営革新に取り組む中小企業をオスカー認定し、継続的な支援を行うことで、京都経済の中核を担う中小企業の育成を図った。

認定企業数：3社 (申請3件)

- 第24回オスカー認定

認定日：2024 (令和6) 年11月11日

株式会社藤田木材

株式会社ヤマホ

株式会社山元塗装工業

#### ロ 京都オスカークラブ事業

オスカー認定を受けた企業で構成。事務局はASTEM企業成長支援部が担う。

会員企業数：197社

#### エ 研修会等の開催

- オスカークラブ総会

開催日 2024 (令和6) 年6月12日

会場 ウェスティン都ホテル京都 葵殿

- 京都オスカークラブ・京都商工会議所連携事業  
京都リレーションシップ2024 ～集い 感じて 京の知恵の和～

開催日 2024 (令和6) 年10月31日

会場 ホテルオークラ京都 暁雲の間

#### オ オスカーYOUTHの活動

京都オスカークラブ会員企業のうち、50歳以下の企業経営者及び後継者等で構成。京都オスカークラブの分科会として2016 (平成28) 年4月に発足。事務局はASTEM企業成長支援部が担う。

会員企業数：47社

- 総会

開催日 2024 (令和6) 年4月24日

会場 ホテル日航プリンセス京都

- 企業訪問

開催日 2024 (令和6) 年8月27日

会場 株式会社ロマンライフ 湖南スタジオ

#### カ 無料専門家派遣

中小企業診断士等の専門家を無料でオスカー認定企業に派遣し、診断やアドバイスを実施した。

支援企業数：3社 (延べ15回)

## (2) 京都市グローバル・ニッチ・トップ企業創出プロジェクト

海外展開を目指す市域の中小企業に対し、海外市場のニーズ調査や展示会出展、海外規格等に対応する製品開発等について補助を行うとともに、海外進出に向けた具体的な行動計画の策定等について、専門のコーディネータによる支援を行った。

### ●京都市グローバル・ニッチ・トップ企業創出補助金

**募集期間** 2024 (令和6) 年4月11日～5月9日

**助成金額** 単独申請 160万円、グループ申請240万円 ※各最大

**助成期間** 採択決定日～2025 (令和7) 年2月28日 (単年度)

**実績** 応募件数：33件

採択件数：17件

### ●海外ビジネス入門セミナー

**開催日** 2025 (令和7) 年3月5日

**会場** 京都経済センター

**参加者** 26名

## (3) CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

経済産業省から受託して、自動車業界のCASEと呼ばれる技術潮流の大きな変化、主に電動化に伴って影響を受ける中堅・中小自動車部品サプライヤー向けの相談窓口を設け、サプライヤーが抱える課題の解決に向けた、課題分析や相談対応、実地研修・セミナー等を通じた啓発活動のほか、課題を解決できる適切な専門人材を派遣するなど、サプライヤーの経営状況に応じて伴走型の支援を行った。

### 📄 相談窓口の運営

中堅・中小企業の自動車部品サプライヤーの経営課題分析、事業転換に向けた戦略策定、技術開発、販路開拓・マッチング、設備投資等、事業再構築を進めるに当たって抱える様々な課題に関する相談対応を行った。

- ・相談対応件数：57件 (24社)

### 📄 普及啓発セミナー等の開催

電動化の進展やCASEの動向などについて理解を深め、課題に対するための基礎知識を習得するリスクリングを意識したセミナーや実地研修会等を開催した。また、EV関連企業の工場見学や自動車技術会関西支部との連携により、関西支部の会員企業(自動車メーカー等)とサプライヤーとの交流会を実施した。

#### ㊦ セミナー

- ・第1回普及啓発セミナー「自動運転～未来を豊かにする自動運転の現状と将来動向～」

**開催日** 2024 (令和6) 年6月14日

**場所** 京都リサーチパーク

**参加者** 会場33名 (28社)、オンライン35名 (28社)

- ・第2回普及啓発セミナー「EVの熱マネジメント技術の動向」

**開催日** 2024 (令和6) 年9月13日

**場所** 京都リサーチパーク

**参加者** 会場50名 (40社)、オンライン117名 (52社)

#### ㊦ シンポジウム

「CASE時代へ 磨け！ サプライヤーの変革力」

**開催日** 2024 (令和6) 年12月18日

**場所** ピアザ淡海

**参加者** 89名 (58社)

#### ㊦ 見学会

- ・第1回電動化関連企業見学会「xEV用e-アクスル生産ライン」

**開催日** 2024 (令和6) 年7月3日

**場所** 株式会社明電舎 名古屋事業所

**参加者** 15名 (15社)

- ・第2回電動化関連企業見学会「EV充電器とV2H機器」

**開催日** 2024 (令和6) 年11月8日

**場所** ニチコン亀岡株式会社

**参加者** 18名 (18社)

#### ㊦ 実地研修

- ・事業創造ワークショップ「EVの車両構造を「見て・聞いて・考える」」

**開催日** 2024 (令和6) 年10月23日／10月30日

**場所** 株式会社神戸製鋼所 神戸総合技術研究所 (KoCoLab) / 京都リサーチパーク

**参加者** 16名 (16社)

#### ㊦ サプライヤー見学会

- ・**開催日** 2024 (令和6) 年7月5日

**場所** ケーピーエス工業株式会社

**参加者** 自動車技術会関西支部会員14名

- ・**開催日** 2024 (令和6) 年10月11日

**場所** 原馬化成株式会社

**参加者** 自動車技術会関西支部会員22名

- ・**開催日** 2025 (令和7) 年2月28日

**場所** 株式会社アテクト

**参加者** 自動車技術会関西支部会員31名

### 📄 専門家派遣

現状課題の整理や分析を踏まえた戦略策定や技術開発等、対象企業の具体的な課題に沿った技術的課題や伴走型の支援を実施した。

- ・派遣先企業数：15社 (延べ53回)

## 5 金融支援事業

### (1) 直接貸付にかかる債権回収事業

旧中小企業支援センターにおいて、地域産業の振興と市民生活の向上に寄与することを目的として、信用力が乏しく資金調達が困難な小規模事業者への事業資金の貸付を行ってきた

(2004(平成16)年度から新規貸出廃止)。2024(令和6)年度も引き続き、返済が滞っている債権の回収業務を実施した。

## 留学生とスタートアップとの交流会

### 1. 概要

JETRO京都や産業支援機関と連携し、留学生の移住・定住の促進や、京都企業のグローバル人材獲得につなげるため、留学生と京都のスタートアップ・中小企業との出会いの場として交流会を実施した。

### 2. 実施内容

#### 留学生と京都のスタートアップ・地域企業等との交流会

**開催日** 2025 (令和7) 年2月27日

**会場** 京都経済センター

**内容** 講演「京都における外国人就労の実態について」  
独立行政法人日本貿易振興機構

京都貿易情報センター (JETRO京都) 所長 村上 義 氏  
トークセッション「外国人が京都で就職してみたら・・・」

登壇者：株式会社RUTILEA 管理部人事担当 松軒 希 氏  
株式会社グートジャパン 執行役員 李 英蘭 氏  
株式会社グートジャパン 社員 孟 小溪 氏  
ファンフォ株式会社

Co-Founder/総務チーム・リーダー  
王 源源 氏

モデレータ：特定非営利活動法人グローバル人材開発センター  
山田 堃 氏

交流会ブース参加企業の紹介  
留学生と企業の交流会

**参加企業** 10社 (株式会社アナテック・ヤナコ、京都国際文化交流協会、株式会社きんそく、共進電機株式会社、株式会社グートジャパン、コスメディ製菓株式会社、東邦電気産業株式会社、Tech Japan 株式会社、株式会社ピューズ、株式会社ユタカ)

**参加者** 61名 (留学生：32名/企業：19名/一般：10名)



## スタートアップビザを活用した外国人起業家活動促進事業

### 1. 概要

JETRO京都、京都海外ビジネスセンターや支援機関等との連携により、京都で起業活動を展開しようとする留学生と外国人起業家との交流イベントを開催した。

### 2. 実施内容

#### Kyoto Entrepreneur MEETUP “Networking with International Entrepreneurs in Kyoto”

留学生・外国人創業希望者対象  
「京都の外国人起業家との交流会」

**開催日** 2025 (令和7) 年1月24日

**会場** ASTEM STC<sup>3</sup>



**内容** 講演1「京都における起業に関心のある外国人への支援」  
独立行政法人日本貿易振興機構

京都貿易情報センター (JETRO京都) 所長 村上 義 氏

講演2「京都の外国人起業家として」

LYNX 代表 上田 セスト 圭昌 氏

トークセッション「京都で起業する！京都で働く！」

登壇者：ファンフォ株式会社 Co-Founder 王 源源 氏

株式会社Guardian 代表取締役

プーザー・ケイトリン・エリン 氏

合同会社建築文化 代表 鍾 祥尉 氏

LYNX 代表 上田 セスト 圭昌 氏

モデレータ：特定非営利活動法人グローバル人材開発センター  
山田 堃 氏

ネットワーキング

**参加者** 56名

## 詳細報告 3

# 世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト IMPACT FLOW KYOTO 2024-2025

## 1. 概要

グローバル展開を見据え、環境・エネルギー、教育、医療、文化等、あらゆる分野の社会課題の解決に挑む創業予定者及びスタートアップを支援する新たなプロジェクト「IMPACT FLOW KYOTO 2024-2025」を実施した。

## 2. 審査

### (1) 一次審査（書類審査）

	創業支援部門	STEP-UP部門
申請数	7件	39件
一次審査通過数	4件	12件

### (2) 最終審査

一次審査を通過した起業家・スタートアップ16者により、ファイナルピッチ（ピッチ形式による公開審査）を開催した。

**開催日** 2025（令和7）年2月4日

**会場** 京都リサーチパーク アトリウム

**特別協賛** 株式会社三菱UFJ銀行

**協賛** 株式会社カクイアンドカンパニー

**協力** 京都リサーチパーク株式会社

**企業賞の提供** 京都リサーチパーク株式会社、コミュニティ・バンク京信、京都中央信用金庫



## 3. 実施結果（補助金採択者（50音順））

### 創業支援部門（2件）

氏名（敬称略）	テーマ
科田 小太郎	京都の伝統とアニメ漫画文化の融合
西郡 琴音	アフリカに1000万人の雇用を作るためのスキル提供プロダクト開発&インターネットアクセス可能なオンラインBPO拠点Bloom Hub設立

### STEP-UP部門（7件）

企業名	所在地	テーマ
株式会社Arktus Therapeutics	京都市左京区	iPS由来軟骨による細胞製人工膝関節の研究開発
株式会社Casie	京都市下京区	流通革新で世界へ挑む！日本の現代アート
株式会社JOYCLE	愛知県名古屋市	ごみを運ばず、燃やさず、資源化する分散型アップサイクルプラントサービス
株式会社虫秘茶	京都市左京区	蛾の幼虫のフンのお茶（虫秘茶）による地方創生モデルの確立
株式会社TSK	京都府精華町	鉄触媒技術で切り拓く新たなバイオスティミュラント産業
株式会社デジリハ	東京都世田谷区	リハビリの質向上と個別最適化を実現する「デジリハ」の開発
株式会社Terra Insight	京都市左京区	全球ビッグデータを活用した統合水資源管理アプリケーション開発

## 4. 今後の展開

採択された企業及び起業家に対しては、令和7年度に実施した補助事業に対し、補助金が交付される。また、事業を進めていくに際し、ASTEMコーディネータによるハンズオン支援を行う。

## 産学連携実装化プロジェクト

### 京都発! 社会実装フォーラム ～大学研究とビジネスのコラボレーション～

#### 1. 概要(事業の目的等)

京都市内の大学の研究者を対象として、京都市が安心・安全で持続可能なまちづくりを進めるうえでの社会課題の解決に資する研究開発を行う大学の研究者に助成することを通じて「社会課題の解決」「研究開発成果の社会実装」につなげることにより、大学発ベンチャーの起業・成長の「きっかけ」を提供するとともに、京都産業の活性化を図った。

#### 2. 実施内容(概要)

**募集期間** 2024(令和6)年6月27日～7月26日

**応募対象者** 京都市内に設置されている大学・  
短期大学において研究を行っている者

**助成金額** 最大200万円(間接経費含む。)

**助成期間** 採択決定日～令和7年2月28日

**実績** 応募件数11件、採択件数5件

#### 採択者一覧

採択者	内容
京都大学 成長戦略本部 インフラ先端技術産学共同研究部門 小椋 紀彦 特定助教	360°カメラによる定期点検支援技術の高度化と維持管理プラットフォームの構築
京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 寺本 好邦 准教授	木材用塗膜の潜在劣化の検出による早期診断技術の開発
京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻 野田 理孝 教授	万願寺とうがらしの生産性向上を実現する植物診断Webアプリケーションの開発
京都工芸繊維大学 応用生物学系 半場 祐子 教授	光合成を最大化し脱炭素・省エネルギーを実現する農業照明用パルス電源LEDの性能評価技術開発
京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 舟場 正幸 教授	ブランドビーフである京都肉の安定的生産を可能にする飼養技術開発

各採択者の研究推進・実装化検討にあたり、ASTEMとして担当コーディネータを決め、助成期間を通し伴走支援を展開。

#### ■第1回オープンイノベーション交流会

**開催日** 2024(令和6)年11月26日(火) 15:00～17:30

**会場** GROWTH京都河原町

**内容** ※プログラム、発表者等

I 「産学連携実装化プロジェクト」概要説明

II 大学研究者発表

(1) 令和5年度「次世代産業×大学発ベンチャー社会課題解決のための技術開発プロジェクト」採択者

① 京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻 助教 宋和 慶盛 氏

「メタン発酵バイオガス発電との融合を目指す気相CO<sub>2</sub>のその場資源化技術」

② 京都大学 生存圏研究所 特定准教授 西村 裕志 氏

「森林バイオマスから高付加価値サステナブル新素材へ」

(2) 令和6年度「産学連携実装化プロジェクト」採択者

III 民間企業による大学との協業事例の紹介

大阪ガス株式会社 理事 エネルギー技術研究所長 森田 哲司 氏

「大阪ガスの産学連携の取り組み」

IV 交流会

**参加者** 30名



発表の様子

#### ■成果報告会・第2回オープンイノベーション交流会

**開催日** 2025(令和7)年3月19日(水) 14:00～17:30

**会場** 京都経済センター3階 F会議室、K O I N  
(京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地)

**内容** I 産学連携実装化プロジェクト概要説明

II 産学連携実装化プロジェクト成果報告会

III マッチング交流会

**参加者** 23名



交流会の様子

## 詳細報告 5

## 第2回 ASTEM・産技研 支援企業交流会

## 1. 概要

ASTEM・京都市産業技術研究所の支援先である「オスカー認定」「京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定」「知恵創出“目の輝き”企業認定」企業のほか、地域のものづくり関連企業のイノベーション創出の場として発足した「産技研ユーザーズコミュニティ」や市内インキュベーション施設等入居企業といった多彩な企業群を対象に、「中小企業の海外展開」をテーマに交流会を開催した。

## 2. 実施内容

**開催日** 2025 (令和7) 年2月3日

**会場** 京都市産業技術研究所 2階大ホール

**内容** <話題提供>

テーマ：100年企業IKUTAの海外チャレンジ (中国・トルコ) 物語り。インドチャレンジ始動！

登壇者：生田産機工業株式会社 代表取締役 生田 泰宏 氏

<グループディスカッション>

テーマ：中小企業の海外展開

ゲストスピーカー・テーマ：生田産機工業株式会社／グローバル人材確保・活用

株式会社松栄堂／販路開拓・マーケティング

マイキャン・テクノロジーズ株式会社／スタートアップの海外展開

JETRO京都／海外展開よろず相談

中小企業基盤整備機構 近畿本部／海外展開 長期支援について

JICA関西／開発途上国へのSDGsビジネス展開

留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS／留学生人材確保・活用

**参加者** 102名

## 3. 参加者の声

- ・期待した方々と名刺交換・ネットワーキングできてよかった。
- ・海外進出に挑戦したいという気持ちが増す内容であった。
- ・新しい情報を入手できた。
- ・抱えている課題の解決の糸口が見えた。



## 京都発革新的医療技術研究開発助成事業・ メディカル革新研究助成事業

### 1. 概要

ASTEMと京都市は、京都市ライフイノベーション創出支援センターを拠点に、ライフサイエンス分野の産学公連携による研究開発支援、事業化支援等を展開しており、その取組の一つとして、京都市内の大学研究者及び中小企業者を対象に、新たな医療機器や医薬品等の創出につながる研究開発に助成する「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」を実施した。

### 2. 実施内容

**申請資格** ①申請する研究開発の事業化を目指して、京都市内に設置されている大学（短大・専門学校を含む）で研究している大学研究者（市外で研究している者は除く）

②京都市内に主たる研究開発拠点等を有する中小企業者

※①②ともに、過去5か年度以内に本助成事業において採択を受けた者は除く。

**対象事業** 医療機器（アプリ開発含む）、医療材料、医薬品・診断薬、再生医療等のライフサイエンス分野の事業化に向けた研究開発

**助成金額** 大学研究者：上限100万円（間接経費を含む場合は上限130万円）、中小企業者：上限100万円

**助成率** 100%

**申請期間** 2024（令和6）年4月1日～4月24日

**助成期間** 交付決定日～2025（令和7）年2月28日

**実績** 申請件数：37件（内、企業11件、大学研究者26件）、採択件数：13件（内、企業4件、大学研究者9件）

**成果報告** 採択者が研究開発成果の報告を行う「研究開発報告会」を開催

- ・開催日：2025（令和7）年1月17日
- ・場 所：京都大学時計台記念館 国際交流ホール I



### 3. 関連事業（メディカル革新研究助成事業）

一般財団法人イシダメディカル財団が、「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」に過去採択された大学研究者を対象に、医療機器や看護業務の改善研究の分野での事業化や社会実装を支援し、ライフサイエンス産業の振興を図ることを目的として実施した「メディカル革新研究助成事業」について、「ライフサイエンス分野の研究開発及び人材育成に関する連携協定」（（一財）イシダメディカル財団・京都市・ASTEM）に基づき運営協力を行った。

**申請資格** 過去5か年度以内に京都発革新的医療技術研究開発助成事業の採択を受けた市内大学研究者

**対象事業** 医療機器開発（アプリ含む）、看護業務の改善分野の事業化に向けた研究開発

**助成金額** 上限200万円（間接経費を含む場合は上限260万円）

**助成率** 100%

**申請期間** 2024（令和6）年4月1日～5月20日

**助成期間** 交付決定日～2026（令和8）年2月末日

**実績** 採択件数：6件

**成果報告** 「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」の研究開発報告会と合同で開催

産学公連携により、京都地域の産業競争力の強化と新事業の創出を図ることを目的とする事業

## 1 産学公連携による技術の橋渡し支援事業

### 趣旨・目的

ASTEMが経済産業省と京都市からの補助を受け、京都市伏見区（らくなん進都内）に2013（平成25）年11月に開設した「京都市成長産業創造センター（Advanced Chemical Technology Center in Kyoto、略称：ACT京都）」を拠点に、産学公のコーディネートにより、大学の技術シーズについて事業化段階への橋渡しを推進するとともに、事業化などの成果について産業界への橋渡しを促進し、地域が発展するために産業競争力の強化や新事業の創出を図る。

### (1) 技術の橋渡し拠点運営事業（京都市成長産業創造センター）

京都市成長産業創造センター（ACT京都）は大学・研究機関、企業等の産学公が連携し、最先端の大学の技術シーズを着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すとともに、その成果を地元の中小企業に橋渡しすることにより、京都市域における産業競争力の確保と新規事業の創出を行うこと、また、人材育成や産学公の交流の場を提供し、幅広い情報交流の促進と新たな連携を創出することを目指し、活動を行っている。2024（令和6）年度の主な取組は以下のとおりである。

#### ア グリーン・サステナブルケミストリーの実現

##### ① 入居者、地域企業への支援

a 入居者、地域企業競争的資金等獲得支援

9件（12件支援中9件採択）

b 情報交流の促進と新たな連携の創出

・入居者ランチ交流会

**開催日** 2024（令和6）年7月25日

**スピーカー** 株式会社OOYOO

**参加者** 21名

**開催日** 2024（令和6）年12月19日

**スピーカー** 株式会社STLM

**参加者** 18名

##### ② 人材の育成、地域社会への貢献・連携

a 自主事業

京都市成長産業創造センターと京都グリーンケミカル・ネットワークの合同企画として、会員企業のマッチング促進を目的とした「KGC-net設立10周年記念 オープンイノベーション」を開催した。

**詳細報告 1** p.24

**開催日** 2025（令和7）年2月5日

**参加者** 117名（交流会60名）

b 連携事業

○京都グリーンケミカル・ネットワーク（KGC-net）

・マイクロケミカルプロセス分科会

**開催日** 2024（令和6）年7月23日、10月22日、  
2025（令和7）年2月20日

**参加企業** 15社

・人材育成セミナー

**開催日** 2024（令和6）年11月25日

**参加者** 11社21名、全員修了証書授与

○東高瀬川ビジネスコミュニティ（東高瀬川IBC）

**開催日** 2024（令和6）年11月27日、  
2025（令和7）年3月21日

**内容** 東高瀬川IBCの各企業トップが集まる会員限定サロンの開催

**参加企業** 22社

○京都市「Tech Tour Kyoto」

マレーシア工業団地一行の視察受入れ

**開催日** 2024（令和6）年8月2日

**参加者** 8名

関西領事団一行の視察受入れ

**開催日** 2025（令和7）年1月24日

**参加者** 40名

## 詳細報告 ①

## KGC-net設立10周年記念 京都市成長産業創造センター・ KGC-net合同企画 オープンイノベーション

### 1. 概要

京都グリーンケミカル・ネットワーク (KGC-net) の設立10周年を記念し、今後のバイオものづくり分野を中心に新しい産業の創出を目指し、KGC-net会員間及び会員企業と地域企業とのマッチングを促進するため、オープンイノベーションを開催した。

### 2. 実施内容

**開催日** 2025 (令和7) 年2月5日

**会場** 京都市成長産業創造センター (ACT京都)

**プログラム** ・特別講演

「微生物バイオものづくりが拓く未来社会」

京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻 教授 小川 順 氏

・出展企業プレゼンテーション (16社)

①アクアス株式会社

②アドファーマ株式会社

③株式会社ナールスコポーレーション

④互応化学工業株式会社

⑤株式会社バイオエックス

⑥三洋化成工業株式会社

⑦新日本理化株式会社

⑧第一工業製薬株式会社

⑨株式会社DFC

⑩株式会社KRI

⑪株式会社STLM

⑫比果産業株式会社

⑬マクセル株式会社

⑭株式会社増田医科器械

⑮洛東化成工業株式会社

⑯株式会社ルネッサンス・エナジー・リサーチ

・出展企業ポスターセッション

併設：よろず相談コーナー (京都市産業技術研究所)

取組事業紹介 (京都市)、DX相談 (ASTEM)

参加者：117名 (交流会60名)



## 1 地域・自治体へのICT（情報通信技術）の展開事業

## 趣旨・目的

これまでに培ったICT（情報通信技術）分野の開発技術、先進的情報通信技術とネットワーク運営ノウハウを活用し、ソフトウェアの企画・開発・調達や保守運用にかかる技術相談（コンサルティング業務）及び、地域企業・公的機関（自治体・大学等）からの受託開発、共同開発等を行い、ICTによる地域産業の発展、ICTを活用したサービスの地域住民への提供に貢献する。

## (1) 自治体や外郭団体等の情報通信システム設計調達支援・開発運用事業

## ⑦ 京都市上下水道局の電話設備更新に関するコンサルティング業務

京都市上下水道局からの受託により、2023（令和5）年10月から2024（令和6）年10月までの計画で、電話設備更新に関するコンサルティング業務を実施した。

## ⑦ 京都市立芸術大学のセキュリティコンサルティング業務

京都市立芸術大学が公開しているウェブシステムの脆弱性診断を実施し、セキュリティ対策について助言を行った。情報処理推進機構（IPA）のガイドラインに基づき、安全なウェブサイトの構築方法を説明した。2025（令和7）年度以降も、京都市立芸術大学の安全なウェブサイト作りに貢献する。

## ⑦ 京都市職員厚生会

京都市職員厚生会の業務システムで使用しているプラット

フォームは導入後長年経過し、職員の利用環境やセキュリティ対策等への対応が必要となっている、最新のプラットフォームへの更新のため、リホストによる新システムの構築を行った。

## ⑦ 京都市観光協会のシステム調達コンサルティング業務

京都市観光協会で利用しているメールシステムのGmailへの移行に伴い、Google WorkSpace導入支援を実施。また、更改時期となっていたFirewall機器、ファイルサーバ、端末管理システム等の調達支援を実施した。

## ⑦ 京都ジョブナビ「京のまち企業訪問」リニューアル

2022（令和4）年度から3か年の計画で実施していたサイトリニューアルを完了した。2024（令和6）年度は掲載企業情報の管理画面の刷新を行った。

## (2) 地域産業DX推進とそのための情報通信システム開発実証・開発指導事業

## ⑦ アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業

オスカー認定企業でもある株式会社ゆうホールディングス関連子会社である株式会社C.Medicalと連携し、同社が展開する患者情報の一元管理と医療安全を実現できる電子薬歴システム「Connect Report」について継続開発を実施した。

あわせて、処方箋受付とビデオチャットによる服薬指導を行うオンライン服薬指導システム「Connect Online」について継続開発を実施した。

これまで培ってきたデジタルヘルスに関する知見及びネットワークを活かし、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の分担研究機関である京都市のベンチャー企業、株式会社ヘルステック研究所と連携のうえ、国内の大手ヘルスケア関連企業や大学及び医療機関とともに、分散管理型のPHRデータ流通基盤に関する仕様策定及びシステム検証に取り組んだ。

詳細報告① p.27

## ⑦ スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業

2010（平成22）年度で終了したスマートフォン活用によるサービス提供プロジェクト及び2015（平成27）年度に終了した戦略産業雇用創造プロジェクトにて培ったノウハウを用いて、以下のスマートフォンソフトウェアの開発を行った。

## ⑦ 振動評価アプリ

一般財団法人家電製品協会が実施する振動に対する印象への評価を収集する実証実験において、被験者が与えられた複数の振動パターンに対し評価を行う振動評価アプリを構築し提供した。

## (3) 地域情報基盤の運営事業

京都市の施策として、1995（平成7）年4月1日より“インターネット京都”を開始し、現在は通信事業者として、次の地域情報基盤のサービスを実施している。

⑦ kyoto-Pnet（Internet Service Provider）

① Univnet 大学向けSINET（学術情報ネットワーク）接続サービス

⑤ ASTEMに来所される研究者の利便性向上のために、所内にeduroamを整備

① 研究成果の管理共有のために、学認RDM（研究管理データ基盤）を導入

詳細報告② p.27

## 2 研究成果の応用・普及事業

### 趣旨・目的

これまでの研究開発事業により得られた研究成果の普及・啓発や、これまで培ってきたノウハウや蓄積してきたデータの活用等を通じて、ICT（情報通信技術）分野での地域産業の活性化に寄与する応用・普及事業に取り組む。

### (1) ICT教育教材並びに教育支援システムの普及事業

大学と共同で開発したKUE-CHIP2及びKR-CHIP教育システムの頒布について、2024（令和6）年度は、頒布実績はなかった。KUE-CHIP2教育システムは2025（令和7）年3月末をもって

頒布を終了した。KR-CHIP2教育システムについては、2025（令和7）年4月以降は民間事業者にライセンス提供を行い、頒布業務を移管する。

### (2) 産業用ネットワークの国際標準規格（EtherCAT）製品の認証事業

工場内の製造装置や加工機、組み立て装置などをつなぐイーサネットベースの国際フィールドバス規格「EtherCAT」仕様製品に対し、日本国内唯一の公式テストセンターとして適合性試験を実施し、京都市域企業への普及活動を行った。ドイツ技術本部とも連携し、2024（令和6）年度は、展示会での広報活動3件、対面セミナー3件発表、接続テストイベント1件参加、日

本企業9社、海外企業1社に対して、28件の認証テスト関連サービスを実施した。

本事業は、2025（令和7）年3月末をもって終了に伴い、4月以降に日本国内でのEtherCAT認証テストセンターを担当するベッコフオートメーション社への業務引継ぎを行った。

## 3 バイオマス利用促進事業

### 趣旨・目的

バイオマスは、木材、紙などの有用な素材として、あるいは化学製品を造る原料として役立ってきたばかりでなく、再生可能エネルギーとして利用されてきた。しかし、エネルギーとしてのバイオマスの利用はわが国ではまだまだ諸外国と比較して進んでいないのが実態である。そこでバイオマス利用に関する先進事例を共有し、産学公関係者が情報交換や討議を行うことで、バイオマスの利用促進を図る事業に取り組む。

### (1) バイオマス・新エネルギー利用研究会

バイオマスの有効利用に関する社会的及び技術的課題について、産学公が密接な交流を行う場の提供を目的に設立された「バイオマス利用研究会」（会長：塩路昌宏 京都大学名誉教授）について、会の名称を2023（令和5）年度から「バイオマス・新

エネルギー利用研究会」に変更して活動している。ASTEMIは、事務局として、会員を対象に研究会を5回（第127回～第131回）企画、開催した。

## 4 賃貸事業

オフィススペースの賃貸を実施した。

## 詳細報告 ①

## 分散管理型PHR流通基盤の普及・事業化検討

## 1. 背景と目的

ASTEMは2023(令和5)年度からAMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)が実施する「医療・介護・健康データ活用基盤高度化事業」(研究代表 京都大学医学研究科石見教授)に参加している。その活動を通じて分散管理型PHRデータ流通基盤についての知見を得て、ASTEMの新規事業構築をすることを目的としている。

## 2. 実施内容と結果

AMEDプロジェクトのシステム開発及び実証チームの一員として株式会社ヘルステック研究所と連携の下、

- ・システム検証シナリオの作成と検証実施
- ・データ交換規格の策定
- ・PHRデータ総合運用モデルの策定

等の検証とりまとめ及び仕様策定を実施した。

ここで得た、技術面・制度面に渡る広範な知見を基に、新規事業調査企画の取り組みとして、中小企業における健康経営に着目し、オスカー認定企業への聞き取り調査を実施し、注目度・期待度共に高いことを確認した。



## 3. 今後の展望(課題、予定)

産業支援や市民の健康管理実現など、PHRデータ活用に関する複数の可能性を模索し、京都市内企業と連携した普及促進・サービス構築などの事業展開を実施検討する。

## 詳細報告 ②

## eduroam/学認(学術認証フェデレーション)から始めるセキュアな研究機関連携

## 1. 概要

eduroam/学認の導入により、教育・研究機関における国際的な交流や共同研究を促進するインフラの整備を行った。

## (1) 学認導入:

- ・学認は国内大学及び研究機関が共通に使えるサービスのための利用者認証を提供する基盤である。
- ・ASTEMの全職員が利用するGoogle WorkspaceをIdPとして、学認が提供する各種オンラインサービスへのシングルサインオン(SSO)環境を構築。認証基盤にはexticを採用。(右図)
- ・研究者・技術者は学認RDM(研究管理データ基盤)を利用可能。ASTEM全職員もNII FileSender(大規模ファイル送受信)を利用可能。



## (2) eduroam導入:

- ・eduroamは国内外の大学・研究機関がキャンパス無線LANを相互利用するための国際的な仕組みである。
- ・ASTEM施設内にeduroam環境を構築。国内外のeduroam参加機関の訪問者は、所属機関のアカウントでASTEM内のeduroamを利用可能。
- ・eduroamを試用したい施設に、eduroamに対応した無線アクセスポイントの貸し出しを行う。

## 2. 成果と効果

- ・学認から提供される学学連携サービス利用により、研究成果の管理・共有の作業効率が向上した。
- ・eduroam導入により、訪問者はスムーズなインターネット接続が可能。今後の研究交流の促進が期待。

## 3. 今後の展望

eduroam/学認など学学連携情報ツール導入において地域の大学を支援すること、またこの仕組みを産学/産産連携に応用することをきっかけとして、大学のまち京都にふさわしい地域の情報インフラを整備していく。

## 1 広報活動

### (1) ASTEMウェブサイト

各部門及びセンター等から発信する情報を、必要とする方々に確実に届けられるよう、内容を定期的に更新を行い、トピッ

クスやバナーを随時トップページに掲載した。

### (2) 広報出版物

ASTEMの事業や成果をわかりやすく紹介する出版物として、広報誌ASTEM NEWS (No.87 3,000部) を発行したほか、

アニュアルレポートを制作した。

### (3) 後援・協賛・協力

年	内容	主催
2024	次世代医療システム産業化フォーラム2024	大阪商工会議所
	東西サイエンスパークDAY2024	株式会社ケイエスピー、京都リサーチパーク株式会社
	第8回京都成形技術セミナー	京都成形技術研究会
	第13回京都女性起業家賞(アントレプレナー賞)	京都府文化生活部男女共同参画課 女性活躍・ワーク・ライフ・バランス推進係
	第5回とめ研究所若手研究者懸賞論文	株式会社とめ研究所
	府民セミナー	一般社団法人京都府情報産業協会
	Healthcare Venture Conference KYOTO 2024 (HVC2024)	独立行政法人日本貿易振興機構、京都府、京都市、京都リサーチパーク株式会社
	京都合成樹脂研究会 総会/講演・見学会	地方独立行政法人京都市産業技術研究所、京都合成樹脂研究会
	京都アトツギゼミ2024	京都信用保証協会、一般社団法人京都知恵産業創造の森
	第21回STSフォーラム 地元主催公開シンポジウム	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 支援京都実行委員会
	情報化月間協賛・京都情報化セミナー「組織向けIT健康診断で切り拓く、人・組織・社会の未来」	一般社団法人京都府情報産業協会
	第11回電子デバイスフォーラム京都	一般社団法人日本電子デバイス産業協会
	ITシンポジウム インフォテック2024	一般財団法人関西情報センター
	企業間取引のデジタル化/効率化: 中小企業共通EDIのご紹介	特定非営利活動法人ITコーディネータ京都
	2024年秋季 京都成形技術セミナー	京都成形技術研究会
	「診断士の日」記念イベントに伴う事例・研究発表会	一般社団法人京都府中小企業診断協会
2025	日本生物工学会 関西支部 第123回醗酵学懇話会	公益社団法人日本生物工学会 関西支部
	新春セミナー	一般社団法人京都府情報産業協会
	モノづくりフォーラム2025	公益社団法人京都工業会
	一般社団法人PHR普及推進協議会 PHR普及推進フォーラム2025	一般社団法人PHR普及推進協議会
	「京都大学第19回ICTイノベーション」	京都大学大学院情報学研究所、京都大学学術情報メディアセンター、プラットフォーム学卓大学院プログラム、京都大学成長戦略本部

年	内容	主催
2025	第5回 知恵-1グランプリ ファイナルステージ	京都商工会議所
	環境フォーラム「GreenTechWonder」	京都リサーチパーク株式会社
	キーウ・ウクライナ 復興ビジネス事始め～姉妹都市キーウ・ウクライナの復興を見据えたビジネス交流セミナー～	京都市
	京都大学大学院工学研究科・経営管理大学院 スタートアップ創出連携	京都大学大学院工学研究科
	第9回京都成形技術セミナー	京都成形技術研究会

#### (4) 展示会等への出展

年	月日	内容	主催	開催地
2024	7.25、26	KRPフェス2024 技術イノベーションフォーラム	京都リサーチパーク株式会社	京都リサーチパーク 1号館4階
	10.3、4	京都フードテックエキスポ2024	京都府	けいはんなオープンイノベーションセンター
	10.9、10	中信ビジネスフェア	京都中央信用金庫	
	10.31	京都リレーションシップ2024 (京都オスカークラブ・京都商工会議所連携事業)	京都オスカークラブ、オスカーYOUTH、京都商工会議所、京都商工会議所青年部、京都高度技術研究所	ホテルオークラ京都
	11.5	京都市産業技術研究所UC創造フォーラム	地方独立行政法人京都市産業技術研究所	京都リサーチパーク 1号館4階
	12.19	中小企業デジタル化・DX促進マッチングフェア2024	京都市	京都産業会館ホール
2025	2.13、14	京都ビジネス交流フェア2025	公益財団法人京都産業21	京都府総合見本市会館 (京都パルスプラザ)

## 2 主な事業活動記録

年	月日	内容
2024	5.10、11、6.1	創業支援講座 第1回京都起業塾
	5.10～2.14	第127回～第131回バイオマス利用研究会 (計5回)
	6.4	第1回デジタル化・DX導入セミナー
	6.14	ミカタプロジェクト第1回セミナー 自動運転 未来を豊かにする自動運転の現状と将来動向
	7.10	京都市ベンチャー企業目利き委員会 Aランク認定企業「共生」例会
	7.23、10.22、2.20	京都グリーンケミカル・ネットワーク マイクロケミカルプロセス分科会 (全3回)
	7.24	第2回デジタル化・DX導入セミナー
	7.30	KRPフェス2024「知っておくべきサイバーセキュリティ対策2024 ～未来を守るための鍵～」セミナー
	8.21	ワクワクみらいアカデミー
	8.28、29	MeBKY MedTech Expo'24 先端技術展示会
	9.4～12.19	デジタル化・DX実践講座 (全5回)
	9.6	理系女性のキャリアセミナー「理系女性のキャリアのリアル」
	9.10～11.28	ライフサイエンスベンチャー創出支援事業 「KYOTO LIFE SCIENCE STARTUP 新事業創出セミナー」 (全6回)

年	月日	内容
2024	9.13	京滋ミカタプロジェクト普及啓発セミナー第2回 EVの熱マネジメント技術の動向
	10.16	京都大学 次世代研究者 産学連携ネットワークイベント：BX 桂
	10.17	KYOTOオープンイノベーションカンファレンス (ライオン株式会社)
	10.18	スタートアップでのインターンシップマッチングイベント
	10.23、30	京滋地域ミカタプロジェクト 事業創造ワークショップ EVの車両構造を「見て、聞いて、考える」
	10.31	京都リレーションシップ2024 ～集い 感じて 京の知恵の和～ (京都オスカークラブ・京都商工会議所連携事業)
	11.1～2.7	令和6年度DXゼミナール「挑戦と共創が生まれる場所づくり」
	11.8、9、23	創業支援講座 第2回京都起業塾
	11.11	第24回オスカー認定 審査委員会
	11.18	KYOTOオープンイノベーションカンファレンス (株式会社カネカ)
	11.25	京都グリーンケミカル・ネットワーク 人材育成セミナー
	11.26	産学連携実装化プロジェクト 第1回オープンイノベーション交流会
	11.27、3.21	東高瀬川ビジネスコミュニティ ビジネスサロン
	11.28	京都市ベンチャー企業目利き委員会 Aランク認定企業ビジネスマッチング会
	11.29	第5回光量子センシングワークショップ～光量子センシングと先端光計測の協奏～
12.18	シンポジウム CASE時代へ 磨け！サプライヤーの変革力	
12.19	中小企業デジタル化・DX促進マッチングフェア2024	
2025	1～2月	女性のための企業プログラム (全5回)
	1.14	宇宙への挑戦!! スタートアップと研究者が語る未来シンポジウム
	1.17	京都発革新的医療技術研究開発助成事業/メディカル革新研究助成事業 研究開発報告会
	1.21	AWSの好事例を徹底分解！クラウドサービス・戦略的活用セミナー
	1.24	Kyoto Entrepreneur MEETUP「京都の外国人起業家との交流会」
	1.24	「Tech Tour Kyoto」関西領事団一行の視察受入れ
	2.3	第2回ASTEM・産技研支援企業交流会
	2.4	世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト「IMPACT FLOW KYOTO 2024-2025」ファイナルピッチ (公開審査会)
	2.5	京都グリーンケミカル・ネットワーク 設立10周年記念 オープンイノベーション
	2.13	KYOTOオープンイノベーションカンファレンス (デクセリアルズ株式会社)
	2.14	KLISC×KECC共催セミナー スタートアップにおける初めての雇用と多様な人材活用
	2.21	京都大学 次世代研究者 産学連携ネットワークイベント：Resilience桂
	2.27	留学生と京都のスタートアップ・地域企業等との交流会
	2.28	金属3Dプリンタシステムに関する技術セミナー
	3.5	海外ビジネス入門セミナー
	3.10	第64回京都市ベンチャー企業目利き委員会 最終審査会
	3.14	ライフサイエンスベンチャー創出支援事業 KYOTO発起業家育成プログラム 成果報告会
	3.19	Seeds-Hubフォーラム「研究予算の稼ぎ方」
	3.19	産学連携実装化プロジェクト 第2回オープンイノベーション交流会・成果報告会
	3.27	ERATO竹内超量子もつれプロジェクト 第1回公開シンポジウム
3.27	公的インキュベーション施設退去企業支援に関する連携協定締結	

### 3 収支報告

● 資金収支計算書

(単位:千円)

区 分	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
<b>I 事業活動収支の部</b>		
1. 事業活動収入		
基本財産運用収入	618	790
特定資産運用収入	1	16
会費収入	9,510	11,640
事業収入	856,262	898,312
補助金等収入	652,110	628,660
寄付金収入	50	2,000
雑収入	2,205	6,309
事業活動収入計	1,520,756	1,547,727
2. 事業活動支出		
事業費支出	1,446,563	1,484,109
管理費支出	47,663	48,514
事業活動支出計	1,494,226	1,532,623
事業活動収支差額	26,530	15,104
<b>II 投資活動収支の部</b>		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩収入	5,934	11,480
受入保証金収入	4,795	5,582
事業譲渡収入	33,000	0
短期前払費用への振替額	700	1,268
投資活動収入計	44,430	18,330
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出	54,122	21,488
固定資産取得支出	5,944	3,162
受入保証金支出	1,988	2,847
長期前払費用への振替額	729	3,744
未収金(固定資産)への振替額	0	3,767
投資活動支出計	62,783	35,008
投資活動収支差額	△ 18,353	△ 16,678
<b>III 財務活動収支の部</b>		
1. 財務活動収入		
借入金収入	780,000	780,000
財務活動収入計	780,000	780,000
2. 財務活動支出		
借入金返済支出	660,000	795,000
財務活動支出計	660,000	795,000
財務活動収支差額	120,000	△ 15,000
当期収支差額	128,177	△ 16,574
前期繰越収支差額	833,948	962,125
次期繰越収支差額	962,125	945,551

● 事業活動収入の部門別内訳

(単位:千円)

区 分	2024 (令和6) 年度	比率
未来プロジェクト推進室	550,670	35.6%
研究開発本部	83,883	5.4%
地域産業活性化本部	813,251	52.5%
管理部門	99,923	6.5%
合 計	1,547,727	100.0%

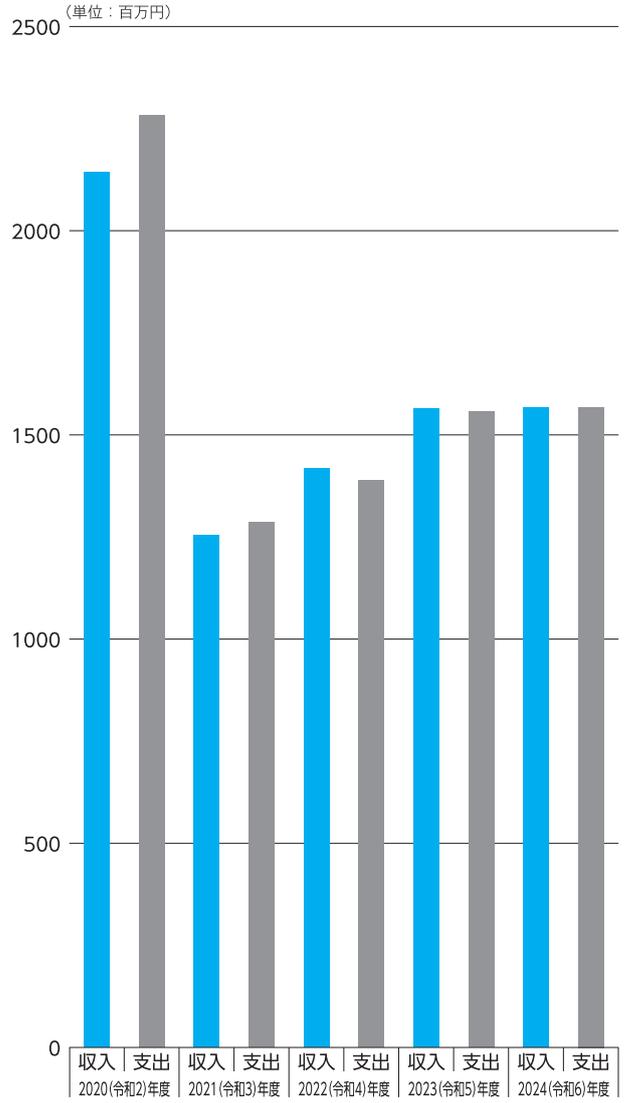
● 財産の状況

(単位:千円)

区 分	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
資 産 合 計	2,770,997	2,677,732
負 債 合 計	1,123,305	1,074,804
正 味 財 産	1,647,691	1,602,928

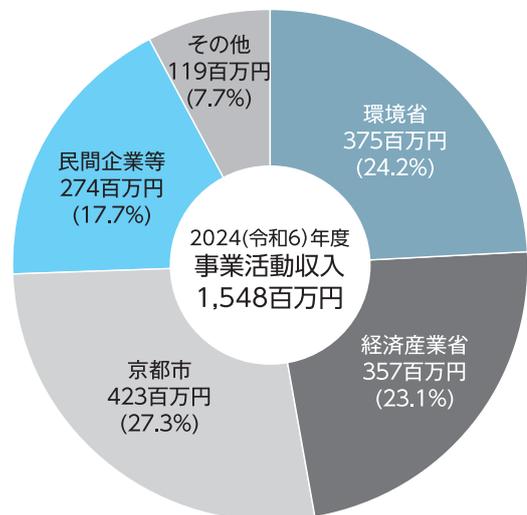
● 資金収支の推移

(単位:百万円)



※借入金収支を除く。

● 事業活動収入の収入先別内訳



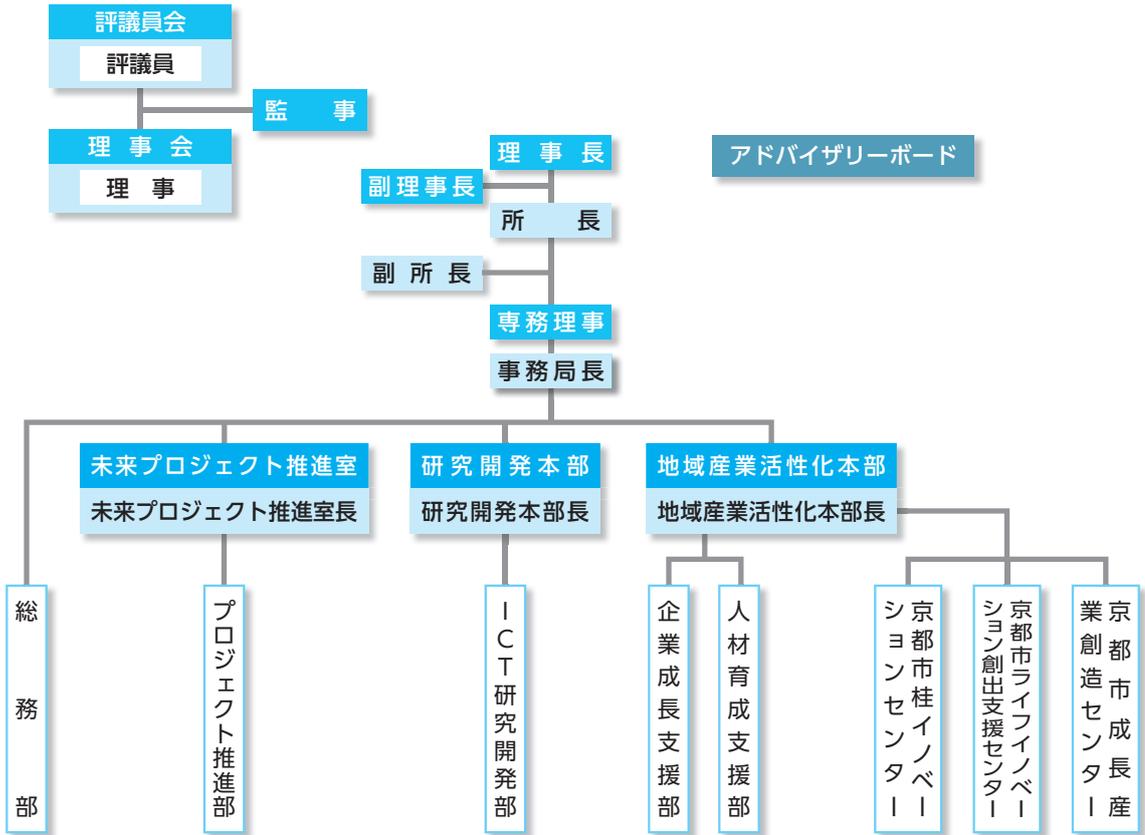
## 4 概要・組織図

### 概要

<b>名称</b>	公益財団法人 京都高度技術研究所 英文名 Advanced Science, Technology & Management Research Institute of KYOTO 略称 ASTEM RI / 京都
<b>所在地</b>	京都市下京区中堂寺南町134番地
<b>代表者</b>	理事長 西本 清一
<b>設立目的</b>	科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与する
<b>設立日</b>	1988(昭和63)年8月9日(京都府知事許可) ※2009(平成21)年10月1日 財団法人京都市中小企業支援センターと統合 ※2013(平成25)年4月1日 公益財団法人化
<b>基本財産</b>	3億円 うち 京都市 1億円 33.3% 京都府 5千万円 16.7% 産業界 1億1千万円 36.7% その他 4千万円 13.3%

組織

2025(令和7)年  
4月1日現在



※職員数合計91人(派遣職員及び委嘱等を含む)

役職者等

理事長	西本 清一	京都大学名誉教授、(地独)京都市産業技術研究所理事長
副理事長・所長	阿草 清滋	名古屋大学名誉教授
副理事長	草木 大	京都市産業・文化融合戦略監(産業観光局長兼職)
理事・副所長 (未来プロジェクト推進室長事務取扱)	酒井 伸一	京都大学名誉教授、大阪工業大学客員教授
専務理事 (事務局長事務取扱)	松井 康史	
研究開発本部長	手嶋 茂晴	
地域産業活性化本部長	孝本 浩基	
京都市桂イノベーションセンター長 京都市成長産業創造センター長	平尾 一之	京都大学名誉教授
京都市ライフイノベーション 創出支援センター長	佐治 英郎	京都大学名誉教授

歴代理事長

1988(昭和63)年8月～2002(平成14)年6月	堀場 雅夫	元ASTEM最高顧問、元株式会社堀場製作所最高顧問
2002(平成14)年7月～2005(平成17)年3月	西川 禎一	元ASTEM名誉顧問、元京都大学名誉教授、元大阪工業大学学長
2005(平成17)年6月～2011(平成23)年7月	高木 壽一	現ASTEM名誉顧問、元京都市副市長
2011(平成23)年7月～2012(平成24)年5月	森井 保光	現ASTEM名誉顧問、元京都市産業観光局長・企画監
2012(平成24)年7月～現在	西本 清一	京都大学名誉教授、(地独)京都市産業技術研究所理事長

# 資料編

## ■ ASTEMのあゆみ

1988 (昭和63) 年	8月	京都府知事から財団設立の許可を受ける
		初代理事長に堀場雅夫 氏 (元株式会社堀場製作所最高顧問) が就任
1989 (平成元) 年	8月	第1期VIL入居者募集開始
	10月	開所式開催 (京都府中小企業総合センター・京都市工業試験場と合同)
1990 (平成2) 年	4月	株式会社京都ソフトウェアアプリケーション、設立される
1991 (平成3) 年	5月	天皇皇后両陛下、ASTEMご見学
1995 (平成7) 年	4月	kyoto-Inet、kyoto-Pnetサービス開始
	8月	VIL入居助成制度開始
		京都市役所内のLAN運用管理を受託
1996 (平成8) 年	4月	情報網"洛中洛外" (スポーツ情報システム) 稼働
1998 (平成10) 年	4月	京都大学大学院情報学研究科 連携大学院講座開始
1999 (平成11) 年	12月	京都市地域プラットフォーム事業開始
2000 (平成12) 年	6月	kyoto-Inet、入会者4万人突破
	12月	京都シニアベンチャークラブ連合会発足を支援
		学生ベンチャー奨励金制度実施
2001 (平成13) 年	3月	創業準備支援室 (スタートアップベンチ) を開設
2002 (平成14) 年	7月	知的クラスター創成事業開始
		第2代理事長に西川禎一 氏 (元京都大学名誉教授・元大阪工業大学学長) が就任
2003 (平成15) 年	4月	京都バイオ産業技術フォーラム設立、京都バイオシティ構想の推進に取り組む
2005 (平成17) 年	1月	京都市地域結集型共同研究事業の開始
	4月	株式会社京都ソフトウェアアプリケーションの財団法人京都高度技術研究所への機能統合、kyoto-Inetの営業譲渡
	6月	第3代理事長に高木壽一 氏 (元京都市副市長) が就任
2006 (平成18) 年	12月	独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) から多言語観光情報プラットフォーム開発を受託
2007 (平成19) 年	12月	プライバシーマーク付与認定
2008 (平成20) 年	9月	知的クラスター創成事業 (第Ⅱ期) 開始
	10月	設立20周年記念式典・記念フォーラム開催
		財団の中期ビジョン策定
2009 (平成21) 年	7月	Mobileware開発センター開設
		EtherCAT認証テストセンター開設
	10月	財団法人京都市中小企業支援センターと統合
2010 (平成22) 年	1月	イノベーション創出コミュニティ (STC <sup>3</sup> ) 事業開始
	4月	京都市中小企業支援センターと立地的統合
2011 (平成23) 年	7月	第4代理事長に森井保光 氏 (元京都市産業観光局長・企画監) が就任
		京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」京都バイオ計測センターをKISTIC内に開所

2012 (平成24) 年	7月	第5代理事長に西本清一 氏(現地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事長、京都大学名誉教授)が就任
2013 (平成25) 年	3月	イノベーションネットアワード2013 経済産業大臣賞受賞
	4月	公益財団法人京都高度技術研究所として新たに発足
	8月	地域イノベーション戦略支援プログラム開始
	11月	京都市成長産業創造センター (ACT京都) を京都市伏見区に開所
	12月	スーパークラスタープログラム開始
2014 (平成26) 年	10月	ASTEM開所25周年
2015 (平成27) 年	3月	財団の中期目標・中期計画を策定
	4月	京都市ライフイノベーション創出支援センターを京大病院先端医療機器開発・臨床研究センター内に開設
	7月	京都市ソーシャルイノベーション研究所開設
		これからの1000年を紡ぐ企業認定制度開始
2017 (平成29) 年	4月	京都市ベンチャー企業目利き委員会発足20周年
2018 (平成30) 年	4月	京都市桂イノベーションセンターを設置
2019 (平成31) 年	3月	ASTEM第Ⅲ期中期計画 (2019年度-2023年度) を策定
2019 (令和元) 年	10月	ASTEM30周年記念講演会、KRP地区開設30周年記念シンポジウム・式典開催
2023 (令和5) 年	11月	京都市成長産業創造センター (ACT京都) 10周年記念フォーラム開催
2024 (令和6) 年	3月	財団の第Ⅳ期中期計画 (2024年度-2028年度) を策定
	4月	京都市ソーシャルイノベーション研究所を京都市に移管

# ANNUAL REPORT 2024

公益財団法人京都高度技術研究所 2024 (令和6)年度年次報告書

2025 (令和7)年6月



発行 公益財団法人京都高度技術研究所  
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地  
TEL 075-315-3625(代) FAX 075-315-3614  
URL <https://www.astem.or.jp/> E-MAIL [info@astem.or.jp](mailto:info@astem.or.jp)





ASTEM

公益財団法人 京都高度技術研究所

URL <https://www.astem.or.jp/>

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地

TEL: 075-315-3625(代) FAX: 075-315-3614

E-MAIL: info@astem.or.jp

